

参考文献

- 秋元信一（1992年）「種とは何か」柴谷篤弘，長野敬，養老孟司編『講座 進化 第7巻』（東京大学出版会）所収
- 秋元信一（2005年）「マイヤー博士の種分化観とその後の発展」『タクサ』第19号，102-104 ページ
- 阿久津瞳，逢沢峰昭，松英恵吾，大久保達弘（2012年）「栃木県那須烏山市におけるモウソウチク林の分布と周辺群落への侵入」『宇都宮大学農学部演習林報告』第48号，139-151 ページ
- 浅井康宏（1993年）『緑の侵入者たち——帰化植物のはなし』朝日選書
- 浅間一男（1979年）『生物はなぜ進化したか——現代進化論の盲点をつく』講談社ブルーバックス
- P. アスキス（1984年）「霊長類学の行方」『思想』3月号，36-51 ページ
- P. J. アスクウイス（1988年）「日本における今西の影響力」B. ホールステッド『「今西進化論」批判の旅』（築地書館）所収
- P. J. アスキス（1992年）「私を魅了した『生きた伝説』——並ぶもののない独創性と広い学識」『アニマ 今西錦司追悼号』第20巻10号，50-51 ページ
- P. J. アスキス（2003年）「今西錦司アーカイブデータベースプロジェクト」『科学』第73巻，1351-1354 ページ
- P. J. アスキス（2006年）「社会性および進化の所産に関する今西錦司の観点を示す諸資料」『生物科学』第57巻3号，142-149 ページ
- 飯塚浩二（1972年）『満蒙紀行』筑摩書房
- 生田哲（1999年）『脳と心をあやつる物質』講談社
- 池田清彦（1985年）「進化の機構に関する諸説の検討と大進化の機構についての一仮説の提唱」『生物科学』第37巻，199-206 ページ
- 池田清彦（1986年）「進化理論における進歩主義」『山梨大学教育学部研究報告 第二分冊 自然科学系』第37号，47-58 ページ
- 池田清彦（1988年 a）『構造主義生物学とは何か——多元主義による世界解読の試み』海鳴社
- 池田清彦（1988年 b）「心はどこにあるのか——心についての構造主義生物学的アプローチ」『理想』第640号，2-14 ページ
- 池田清彦（1989年）『構造主義と進化論』（海鳴社）
- 池田清彦（1991年 a）「構造主義科学論からみた進化論史」柴谷篤弘，長野敬，養老孟司編『講座進化 1』（東京大学出版会）所収
- 池田清彦（1991年 b）「大進化の機構についての一新仮説」柴谷篤弘，法橋登，斎藤嘉文編『生物学にとって構造主義とは何か——R・トム/J・ニーダム/F・ヴァレーラを含む国際討論の記録』（吉岡書店）所収

- 池田清彦 (1996 年 a) 「構造主義進化論の試み」『談』第 55 号, 12-29 ページ
- 池田清彦 (1996 年 b) 「進化をつかさどる構造」『生物科学』第 47 卷, 169-174 ページ
- 池田清彦 (1997 年) 『さよならダーウィニズム——構造主義進化論講義』講談社
- 池田清彦 (1998 年) 『科学とおカルト——際限なき「コントロール願望」のゆくえ』PHP 新書
- 池田清彦 (2007 年) 「科学とおカルト」『本』第 32 卷 2 号, 36-38 ページ
- 池田清彦 (2009 年) 「ダーウィンが言ったこと, 言わなかったこと」『現代思想』4 月臨時増刊号, 62-68 ページ
- 池田清彦 (2011 年) 『構造主義進化論入門』講談社学術文庫
- 池田清彦 (2017 年) 『進化論の最前線』集英社インターナショナル新書
- 池田清彦, 西條剛央 (2006 年) 『科学の剣 哲学の魔法——対談 構造主義科学論から構造構成主義への継承』北大路書房
- 池田清彦, 中村雄二郎 (1994 年) 「時間と生命」『現代思想』第 22 卷 10 号, 74-94 ページ
- 池田常道 (1998) 「疑惑の系譜——トモ・チェセンをめぐる論争」T. チェセン『孤独の山』(山と溪谷社) 所収
- 伊沢紘生 (1982 年) 『ニホンザルの生態——豪雪の白山に野生を問う』どうぶつ社
- 伊沢紘生 (インタビューアー: 立花隆) (1991 年) 「ボスザルは存在しない」立花隆『サル学の現在』(平凡社) 所収
- 石井象二郎 (1979 年) 『昆虫と化学』玉川大学出版部
- 石城謙吉, 橋本正雄, 太田嘉四夫 (1972 年) 「北海道大学中川地方演習林鳥類調査報告 その 2: 冬期の生息鳥類」『北海道大学農学部演習林研究報』第 29 卷, 37-42 ページ
- 伊勢田哲治 (インタビューアー: 高橋真理子) (2007 年) 「反証あつてこそ科学」『朝日新聞』4 月 6 日朝刊
- 磯野富士子 (1986 年) 『冬のモンゴル』中公文庫
- 板倉聖宣 (1977 年) 『科学的とはどういうことか』仮説社
- 伊谷純一郎 (1972 年) 『霊長類の社会構造』共立出版
- 伊谷純一郎 (1975 年) 「解題」『今西錦司全集 第 7 卷』(講談社) 所収
- 伊谷純一郎 (1987 年) 『霊長類社会の進化』平凡社
- 伊谷純一郎 (1990 年) 「解題」今西錦司『自然学の展開』(講談社学術文庫) 所収
- 伊谷純一郎 (1991 年) 「カルチュアの概念——アイデンティフィケーション論その後」西田利貞, 伊沢紘生, 加納隆至編『サル文化誌』(平凡社) 所収
- 伊谷純一郎 (1992 年) 「等身犬の世界への愛情——今西錦司先生を悼む」『毎日新聞』6 月 16 日夕刊
- 伊谷純一郎 (1993 年) 「解題」『今西錦司全集 第 11 卷』(講談社) 所収
- 伊谷純一郎 (1997 年) 「競争と共生」『霊長類研究』第 13 卷, 183-186 ページ
- 伊谷純一郎, 立花隆 (1986 年) 「終章 サルからヒトへの社会進化」立花隆『サル学の現在』(平凡社) 所収
- 市野隆雄 (2003 年) 「壮大なフロンティア精神の現代的意義——今西錦司の生物学」『科学』第 73 卷, 1321-1327 ページ
- 伊東俊太郎 (1958 年) 「生命について」『科学基礎論研究』第 4 卷, 5-6 ページ

- 伊藤孝美, 山田倫章 (2005 年) 「モウソウチク林の侵入と繁殖特性」『大阪府立食とみどりの総合技術センター研究報告』第 41 号, 11-18 ページ
- 伊藤千恵, 藤原一繪 (2007 年) 「都市域森林群落における外来種トウネズミモチ *Ligustrum lucidum* Ait. の分布と生態的特性: 在来種ネズミモチ *Ligustrum japonicum* Thunb. と比較して」『保全生態学研究』第 12 巻, 143-150 ページ
- 伊藤嘉昭 (1973 年) 「生態学の危機 (3) —— 可児藤吉の評価をめぐって」『自然』第 28 巻 6 号, 62-68 ページ
- 伊藤嘉昭 (1990 年) 「日本の生態学——とくに今西錦司の評価と関連して」『生物科学』第 42 巻, 176-191 ページ
- 伊藤嘉昭 (1992 年) 「矛盾をはらんだ生態学への寄与——その強い影響力の意味を問う」『アニマ 今西錦司追悼号』第 20 巻 10 号, 46-47 ページ
- 伊藤嘉昭 (2003 年 a) 「今西錦司の反科学論: 自然科学の外で今でも続く悪影響」『科学』第 73 巻, 1336-1339 ページ
- 伊藤嘉昭 (2003 年 b) 『楽しき挑戦——型破り生態学 50 年』海游社
- 伊藤嘉昭 (2006 年) 「今西錦司: 人文・社会系の彼をほめる人たちは、彼の良かったところではなく、悪かったところをほめている」『生物科学』第 57 巻, 166-170 ページ
- 井上民二 (1998 年) 『生命の宝庫・熱帯雨林』NHK ライブラリー
- 井上舜二 (2002 年) 「モウソウチクを主とする竹類の里山林への侵入と照葉樹林への参入」兵庫教育大学大学院学校教育研究科 (修士論文)
- 井上元則 (1972 年) 『北海の自然と野鳥』農林出版
- 今西錦司 (1933 年) 「分布の研究方法について」『關西昆蟲雑誌』第 1 巻, 61-70 ページ (『今西錦司全集 第 4 巻』に収録)
- 今西錦司 (1935 年) 「日本アルプスの森林限界線について」『山岳』第 30 巻, 217-264 ページ (『今西錦司全集 第 8 巻』に収録)
- 今西錦司 (1936 年) 「生物群聚と生物社会」『植物及動物』第 4 巻, 113-118 ページ (『今西錦司全集 第 4 巻』に収録)
- 今西錦司 (1937 年 a) 「群聚分類と群聚分析」『地理學評論』第 13 巻, 725-736 ページ (『今西錦司全集 第 4 巻』に収録)
- 今西錦司 (1937 年 b) 「垂直分布の別ち方について」『山岳』第 32 巻, 269-364 ページ (『今西錦司全集 第 8 巻』に収録)
- 今西錦司 (1940 年 a) 「内蒙古の生物學的調査——序説」木原均編『内蒙古の生物學的調査』(養賢堂) 所収 (『今西錦司全集 第 5 巻』に収録)
- 今西錦司 (1940 年 b) 「動物の社会 Allee の *The Social Life of Animals* について」『あきつ』第 2 巻, 93-116 ページ (『今西錦司全集 第 5 巻』に収録)
- 今西錦司 (1941 年) 『生物の世界』弘文堂書房 (『今西錦司全集 第 1 巻』に収録)
- 今西錦司 (1948 年) 『遊牧論その他』秋田屋 ((『今西錦司全集 第 2 巻』に収録)
- 今西錦司 (1949 年) 『生物社会の論理』毎日新聞社 (『今西錦司全集 第 4 巻』に収録)
- 今西錦司 (1950 年 a) 『山と探検』岡書院 (『今西錦司全集 第 1 巻』に収録)
- 今西錦司 (1950 年 b) 「人間における動物の再発見——“キンゼイ” 報告について」『自然』第 5 巻 5 号, 8-11 ページ

- 今西錦司 (1951年) 『人間以前の社会』岩波新書 (『今西錦司全集 第5巻』に収録)
- 今西錦司 (1952年 a) 『村と人間』新評論社 (『今西錦司全集 第6巻』に収録)
- 今西錦司 (1952年 b) 「人間性の進化」今西錦司編『人間』(毎日新聞社) 所収 (『今西錦司全集 第7巻』に収録)
- 今西錦司 (1954年) 『ヒマラヤを語る』白水社 (『今西錦司全集 第3巻』に収録)
- 今西錦司 (1960年 a) 『ゴリラ』文藝春秋新社 (『今西錦司全集 第8巻』に収録)
- 今西錦司 (1960年 b) 「トリ・サル・人間——アンデントィフィケーションを支える一般理論が可能だろうか」『人文学報』第12号, 1-13 ページ (『今西錦司全集 第7巻』に収録)
- 今西錦司 (1961年 a) 「サルはこうして人間になった」島本融編『明日への科学』(北海道書房) 所収
- 今西錦司 (1961年 b) 「人間家族の起原——プライマトロジーの立場から」川村俊蔵, 伊谷純一郎編『サル——社会学的研究』(中央公論社) 所収 (『今西錦司全集 第5巻』に収録)
- 今西錦司 (1961年 c) 「価値観に歪められた科学精神」『中央公論』第76巻10号, 80-89 ページ
- 今西錦司 (1964年) 「進化の理論について——正統派進化論に対する疑義」『人文学報』第20号, 1-13 ページ (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1965年) 『人類の祖先を探る』講談社現代新書
- 今西錦司 (1966年 a) 『人間社会の形成』NHKブックス (『今西錦司全集 第5巻』に収録)
- 今西錦司 (1966年 b) 「Personalityの進化に関する覚えがき」川喜田二郎, 梅棹忠夫, 上山春平編『人間——人類学的研究』(中央公論社) 所収
- 今西錦司 (1966年 c) 「文化と進化」『思想』第501号, 11-22 ページ (『今西錦司全集 第9巻』に収録)
- 今西錦司 (1967年) 「ダーウィンと進化論」今西錦司編『ダーウィン』(中央公論社) 所収 (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1968年) 「丘浅次郎の進化論」丘浅次郎『進化論講話』(有精堂) 所収 (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1970年) 『私の進化論』思索社 (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1972年) 「ニホンザル——その社会における個体」『動物の社会』(思索社) 所収 (『今西錦司全集 第7巻』に収録)
- 今西錦司 (1973年 a) 『今西錦司座談録』河出書房新社
- 今西錦司 (1973年 b) 『そこに山がある』日本経済新聞社 (『今西錦司全集 第9巻』に収録)
- 今西錦司 (1973年 c) 「人類の生い立ちと未来」『文化と人類』(朝日新聞社) 所収
- 今西錦司 (1974年) 『人類の進化史』PHP研究所 (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1975年) 『私の進化論』『ブリタニカ国際大百科事典 参考文献』(TBSブリタニカ) 所収 (『今西錦司全集 第10巻』に収録)
- 今西錦司 (1976年 a) 『私の霊長類学』講談社学術文庫 (『今西錦司全集 第11巻』に収録)
- 今西錦司 (1976年 b) 『進化とはなにか』講談社学術文庫
- 今西錦司 (1977年 a) 『ダーウィン論』中公新書 (『今西錦司全集 第12巻』に収録)
- 今西錦司 (1977年 b) 「解題」徳田御稔『生物進化論』(講談社学術文庫) 所収 (『今西錦司全集 第11巻』に収録)

- 今西錦司 (1978 年 a) 『私の自然観』 講談社学術文庫 (『今西錦司全集 第 9 巻』に収録)
- 今西錦司 (1978 年 b) 「真意はいずこに——あとがきにかえて」今西錦司, 飯島衛 『進化論——東と西』 (第三文明社) 所収 (『今西錦司全集 第 12 巻』に収録)
- 今西錦司 (1978 年 c) 『自然と進化』 筑摩書房 (『今西錦司全集 第 11 巻』に収録)
- 今西錦司 (1978 年 d) 「蒙古・思い出すまに」 『自然と進化』 (筑摩書房) 所収 (『今西錦司全集 第 11 巻』に収録)
- 今西錦司 (1980 年) 『主体性の進化論』 中公新書 (『今西錦司全集 第 12 巻』に収録)
- 今西錦司 (1981 年) 『人類の周辺』 筑摩書房 (『今西錦司全集 第 11 巻』に収録)
- 今西錦司 (1985 年 a) 「序・生物社会学のことども」 小田柿進二著 『文明のなかの生物社会』 (NHK ブックス) 所収 (『今西錦司全集 第 13 巻』に収録)
- 今西錦司 (インタビューア-: 安江安宣, 辻英明) (1985 年 b) 「今西錦司博士と農林生物学科」 『南窓』 第 37 号, 5-8 ページ
- 今西錦司 (1986 年) 『自然学の提唱』 講談社学術文庫 (『今西錦司全集 第 13 巻』に収録)
- 今西錦司 (1987 年) 『自然学の展開』 講談社 (『今西錦司全集 第 13 巻』に収録)
- 今西錦司 (インタビューア-: 立花隆) (1991 年) 「ヒトとサル」 立花隆 『サル学の現在』 (平凡社) 所収
- 今西錦司 (石田英実編) (2002 年) 『採集日記 加茂川 1935——今西錦司フィールドノート』 京都大学学術出版会
- 今西錦司, 飯島衛 (1978 年) 『進化論——東と西』 レグルス文庫
- 今西錦司, 上山春平, 吉良竜夫 (1980 年) 「座談・自然と人間に関する学問の課題」 『自然読本 生態学』 (河出書房新社) 所収
- 今西錦司, 浦本昌紀, 今泉吉晴 (1975 年) 『生物の世界』をめぐって』 『座談 今西錦司の世界』 (平凡社) 所収
- 今西錦司, 小原秀雄 (1981 年) 「対談 進化の鍵・自然・社会・個体」 『アニマ』 第 9 巻 7 号, 10-17 ページ
- 今西錦司, 小原秀雄, 上山春平 (1975 年) 「今西進化論」 『座談 今西錦司の世界』 (平凡社) 所収
- 今西錦司, 柴谷篤弘 (司会: 米本 昌平) (1984 年) 「進化論も進化する——今西進化論と分子生物学」 リポート
- 今西錦司, 鈴木信, 宮後正樹 (1975 年) 『山の魅力』 『座談 今西錦司の世界』 (平凡社) 所収
- 今西錦司, 竹内均 (1978 年) 「人類はこれから進化する」 『諸君!』 第 10 巻 5 号, 96-112 ページ
- 今西錦司, 武田泰淳, 安岡章太郎 (1973 年) 「人間はどこへ行くか」 『今西錦司座談録』 (河出書房新社) 所収
- 今西錦司, 立花隆 (1986 年) 「序章 ヒトとサル」 立花隆 『サル学の現在』 (平凡社) 所収
- 今西錦司, 鶴見俊輔, 北沢恒彦 (1982 年) 「山紫水明の距離」 『思想の科学』 第 22 号, 73-80 ページ
- 今西錦司, F. ハイエク (1979 年) 『自然・人類・文明』 NHK ブックス
- 今西錦司, 伴忠康 (1973 年) 「ヒトは進化するか?」 『今西錦司座談録』 (河出書房新社) 所収
- 今西錦司, 福井謙一, 河合雅雄, 西沢潤一, 小柴昌俊 (2007 年) 『私の履歴書 科学の求道者』

日経ビジネス人文庫

- 今西錦司, 藤岡喜愛, 伊谷純一郎, 山田慶児, 太田至, 米山俊直 (1984年) 「座談会『自然科学の提唱』について」『季刊人類学』第15巻2号, 3-58ページ
- 今西錦司, 吉本隆明 (1978年) 『ダーウィンを超えて——今西進化論講義』朝日出版社
- 今西錦司, 米山俊直, 谷泰 (1975年) 「文化と文明の進化」『座談 今西錦司の世界』(平凡社) 所収
- 今西武奈太郎 (1994年) 「父, 今西錦司」月報『今西錦司全集 別巻』講談社
- 岩本俊孝, 庄武孝義, 森明雄, 肥昭夫 (2001年) 「ヒヒ類の社会構造の変化に関する生態学的・遺伝学的研究」『平成10年度~平成12年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書』宮崎大学情報リポジトリ (<http://opac2.lib.miyazaki-u.ac.jp/webopac/TC00000006>)
- D. ウィリアムズ (2002年) 『ドナの結婚』新潮社
- E. O. ウィルソン (1999年) 『社会生物学』新思索社
- 上田篤 (2010年) 「今西錦司 真っ直ぐや!」『文藝春秋』3月号, 181-184ページ
- 上野創 (2002年) 『がんと向き合って』晶文社
- 上原敬二 (東京農業大学地域環境科学部造園学科編) (2009年) 『人のつくった森——明治神宮の森〔永遠の杜〕造成の記録』東京農大出版会
- 上山春平, 佐々木高明, 中尾佐助 (1976年) 『照葉樹林文化〈続・東アジア文化の源流〉』中公新書
- S. ウォルフ, ピンスキー, R. H. (2002年) 「偽薬投与の効果と毒性反応の発生」笠原敏雄編『偽薬効果』(春秋社) 所収
- A. R. ウォーレス (1985年) 『心霊と進化と——奇跡と近代スピリチュアリズム』(抄訳) 潮文社
- A. R. ウォーレス (1987年) 『熱帯の自然』平河出版社
- A. R. ウォーレス (2008年) 『ダーウィニズム』新思索社
- 内井惣七 (1993年) 「形質分岐の原理: ダーウィンとウォーレス」『京都大学文学部研究紀要』第32号, 43-103ページ
- 内井惣七 (2009年) 『ダーウィンの思想——人間と動物のあいだ』岩波新書
- 内田俊郎 (1995年) 「学生時代のことなど」『南窓』第47号
- 内田知行 (2007年) 「蒙疆政権のアヘン政策」内田知行, 柴田善雅編『日本の蒙疆占領1937-1945』(研文出版) 所収
- 内田博 (1986年) 「猛禽類の巣近くで繁殖する鳥について」『日本鳥学会誌』第35巻, 25-32ページ
- 内山孝一 (1928年) 『生物哲学研究』大鐘閣
- 梅棹忠夫 (1991年) 「回想のモンゴル」中公文庫
- 梅棹忠夫 (1992年) 「ひとつの時代のおわり——今西錦司追悼」『中央公論』第107巻8号, 320-332ページ
- 梅棹忠夫 (1997年) 『行為と妄想——わたしの履歴書』日本経済新聞社
- 梅棹忠夫 (2010年) 「蒙古善隣協会西北研究所——モンゴル牧畜調査 自然科学から人文科学へ」『季刊民族学』第34巻4号, 31-34ページ

- 梅棹忠夫, 川喜田二郎, 吉良竜夫, 藤田和夫 (司会: 松原正毅) (2003年) 「対談——今西錦司と私」『科学』第73巻, 1304-1319ページ
- 梅本堯夫 (2001年) 「顔認知の生得的特異性」『発達研究』第16巻, 99-104ページ
- 浦河べてるの家 (2002年) 『べてるの家の「非」援助論』医学書院
- 浦本昌紀 (1974年) 「スズメ——人間の周辺にだけ住む」朝日新聞社編『新動物誌』(朝日新聞社) 所収
- 浦本昌紀 (1977年) 「イエスズメの変異について」今西錦司『ダーウィン論』(中公新書) 所収
- 江口和洋, 天野一葉 (2008年) 「ソウシチョウの間接効果によるウグイスの繁殖成功の低下」『日本鳥学会誌』第57巻, 3-10ページ
- 江口和洋, 天野一葉, 坂梨仁彦 (2002年) 「移入鳥類の野生化の実態」『第11期プロ・ナトゥーラ・ファンダ助成成果報告書』(自然保護助成基金) 21-27ページ
- 海老名市編 (2009年) 『海老名市史 8 通史編 近代・現代』海老名市
- C. エルトン (1971年) 『侵略の生態学』思索社
- 大串龍一 (1981年) 『水生昆虫の世界——流水の生態』東海大学出版会
- 大串龍一 (1992年) 『日本の生態学——今西錦司とその周辺』東海大学出版会
- 大串龍一 (2006年) 「今西錦司がわれわれに残したもの」『生物科学』第57巻, 150-156ページ
- 大河内一雄 (1981年) 『遙かなり大陸——わが東拓物語』績文堂出版
- 大河内一雄 (1991年) 『国策会社・東洋拓殖の終焉』績文堂出版
- 大田眞也 (2010年) 『スズメはなぜ人里が好きなのか』弦書房
- 大沼正則 (1991年) 「変革の科学か, 知のゲームか——池田清彦「構造主義科学論」における反科学論」『季刊科学と思想』第80号, 1174-1196ページ
- 大場秀章, 秋山忍 (1997年) 「東京大学植物標本室に関係した人々——矢田部良吉」大場秀章編『日本植物研究の歴史——小石川植物園の三〇〇年の歩み』(東京大学出版会) 所収
- 大林隆司, 竹内浩二 (2007年) 「小笠原諸島父島および母島におけるアフリカマイマイの分布ならびに個体数の変動 (1995~2001年)」『日本応用動物昆虫学会誌』第51巻, 221-230ページ
- 大森威宏 (2014年) 「群馬県南西部・安中市大谷地区の竹林の拡大過程について」『群馬県立自然史博物館研究報告』第18号, 151-156ページ
- 小笠原自然環境研究会 (1992年) 『フィールドガイド——小笠原の自然』古今書院
- 小笠原自然情報センター (n.d.) 「陸産貝類固有種」(http://ogawara-info.jp/pdf/isan/kairui_koyu.pdf) 2015年11月13日アクセス
- 岡田節人 (1983年) 『生命科学の現場から』新潮選書
- 岡田節人 (1994年) 『生命体の科学——テクノロジーと文化』人文書院
- 岡田節人 (2000年) 『生物学の旅——始まりは昆虫採集!』新潮選書
- 丘英通 (1931年) 「機械論と生氣論」『岩波講座哲學 體系的研究』(岩波書店) 所収
- 岡山理科大学生物地球学部生物地球学科植物生態研究室 (1998年) 「ポット苗による緑化」(<http://had0.big.ous.ac.jp/norimen/norimen.htm>) 2015年12月9日アクセス
- 荻野富士夫, 吉田裕, 岡部牧夫編 (2010年) 『中国侵略の証言者たち——「認罪」の記録を

読む』岩波新書

- 奥富清 (2014 年) 「明治神宮の森に学ぶ——自然と人為的干渉の関係」『グリーン・エージ』
7月号, 15 ページ
- 小倉豊文 (1948) 『絶後の記録——広島原子爆弾の手記』中央社 (1982 年, 中公文庫)
- 小田柿進二 (1979 年) 『石仏と私』私家版
- 小田柿進二 (1985 年) 『文明のなかの生物社会』NHK ブックス
- 小田柿進二 (1988 年) 『開発の中の生物たち』農文協
- 小田柿進二 (1993 年) 「昆虫学研究室のころ」月報『増補版 今西錦司全集 第 11 巻』講
談社
- 鬼束大平, 加藤颯, 小林達明 (2011 年) 「千葉県におけるモウソウチク林群落拡大モデルに
関する基礎的研究」『日本緑化工学会誌』第 37 巻, 90–95 ページ
- 小野幹雄 (1994 年) 『孤島の生物たち——ガラパゴスと小笠原』岩波新書
- 宅香菜子 (2010 年) 『外傷後成長に関する研究——ストレス体験をきっかけとした青年の変
容』風間書房
- 笠原敏雄編 (1984 年) 『死後の生存の科学』叢文社
- 笠原敏雄編 (1987 年) 『サイの戦場——超心理学論争全史』平凡社
- 笠原敏雄 (1989 年) 『超心理学ハンドブック』ブレーン出版
- 笠原敏雄編 (1993 年) 『超常現象のとらえにくさ』春秋社
- 笠原敏雄 (1994 年) 『超心理学研究』おうふう (『超心理学ハンドブック』改裝版)
- 笠原敏雄 (1995 年) 『隠された心の力——唯物論という幻想』春秋社
- 笠原敏雄 (1997 年) 『懲りない・困らない症候群』春秋社
- 笠原敏雄編 (1999 年) 『多重人格障害——その精神生理学的研究』春秋社
- 笠原敏雄 (2000 年) 『超心理学読本』講談社プラスアルファ文庫
- 笠原敏雄編 (2002 年) 『偽薬効果』春秋社
- 笠原敏雄 (2004 年 a) 『幸福否定の構造』春秋社 (2020 年, アマゾン・オンデマンド版)
- 笠原敏雄 (2004 年 b) 『希求の詩人・中原中也』麗澤大学出版会 (2020 年, アマゾン・オ
ンデマンド版)
- 笠原敏雄 (2004 年 c) 「PK 能力者を対象にした実験的研究」『超心理学研究』第 9 巻, 79–
86 ページ
- 笠原敏雄 (2005 年) 『なぜあの人は懲りないのか・困らないのか——日常生活の精神病理学』
春秋社 (『懲りない・困らない症候群』改裝版)
- 笠原敏雄 (2010 年) 『本心と抵抗——自発性の精神病理』すびか書房
- 笠原敏雄 (2011 年) 『加害者と被害者の“トラウマ”』国書刊行会
- 笠原敏雄 (2016 年) 『幸せを拒む病』フォレスト新書
- 笠原敏雄 (2020 年) 『人間の「つながり」と心の実在』すびか書房
- 笠原嘉 (1967 年) 「内因性精神病の発病に直接前駆する『心的要因』について」『精神医学』
第 9 巻 6 号, 17–26 ページ
- 笠原嘉 (2012 年) 『精神科と私——二十世紀から二十一世紀の六十年を医師として生きて』
中山書店
- 風祭元 (2001 年) 「脳とこころの相関」『こころの科学』第 100 号, 218 ページ

- 柏木朋也他 (2009年) 「ラットにおける高所滞在平地トレーニングが肺循環動態および肺動脈の血管内皮型一酸化窒素合成酵素タンパク質発現に与える影響」『体力科学』第58巻, 285-294 ページ
- 粕谷英一 (1992年) 「行動生態学の適応論」柴谷篤弘, 長野敬, 養老猛司編『講座進化 第7巻 生態学からみた進化』(東京大学出版会) 所収
- 粕谷英一 (1993年) 「戦中期の中国における日本人知識人たちのクロスロード——中国での今西錦司をめぐって」『現代思想』第21巻, 226-231 ページ
- 粕谷英一, 浅見崇比呂 (1998年) 「池田清彦氏は科学主義者だろうか——オオシモフリエダシヤクの工業暗化」『科学』第68巻8号, 670-671 ページ
- 片岡博尚 (2009年) 「ハンス・モーリッシュを訪ねて」『東北大学資料館だより』No. 11, 2-5 ページ
- 金森修 (1994年) 「ベルクソンと進化論」『現代思想』第22巻11号, 387-403 ページ
- 金森修 (2009年) 「金森修, 合田正人, 檜垣立哉 〈座談会〉ベルクソンの過去から未来へ」での発言『思想 ベルクソン生誕150年』第1028号, 11-43 ページ
- 唐沢孝一 (1989年) 『スズメのお宿は街のなか』中公新書
- 唐沢孝一 (2002年) 『都市動物の生態をさぐる——動物からみた大都会』裳華房
- 軽込勉, 米道学, 里見重成, 池田裕行, 鈴木誠 (2008年) 「モウソウチクの発芽及び10年実生林の現状」『関東森林研究』第59号, 187-190 ページ
- B. M. F. G. ガルディカス (インタビューア: 松沢哲郎) (2000年) 「オランウータンに捧げた人生」『エコソフィア』第5号, 16-23 ページ
- 河合単雄 (1993年) 「藤岡喜愛さんを偲んで」藤岡喜愛著『イメージの旅』(日本評論社) 所収
- 河合雅雄 (1997年) 「雑種化と霊長類の進化」『河合雅雄著作集4 アフリカからの発想』(小学館) 所収
- 河合雅雄 (2009年) 「哺乳類学と霊長類学」『霊長類研究』第24巻, 181-182 ページ
- 川勝平太 (1993年) 「仏・お経・お文」月報『今西錦司全集 第12巻』講談社
- 川上和人, 叶内拓哉 (2012年) 『外来鳥ハンドブック』文一総合出版
- 川上和人, 益子美由希 (2008年) 「小笠原諸島母島におけるネコ *Felis catus* の食性」『小笠原研究年報』第31号, 41-48 ページ
- 川喜田二郎 (1989年) 「今西学——その思想と現代的意義」『今西錦司——その人と思想』(ペリかん社) 所収
- 川喜田二郎, 河合雅雄, 荒俣宏 (1992年) 「座談会 ライバルはダーウィン——自然科学から自然学へ」『アニマ 今西錦司追悼号』第20巻10号, 15-19 ページ
- 河田雅圭 (1985年) 「進化論は進化した? ——柴谷・今西種分化論批判」『生物科学』第37巻, 72-78 ページ
- 河田雅圭 (1986年) 「構造主義生物学と自然選択説は二者択一的か? ——柴谷篤弘の指摘に答えて」『生物科学』第38巻, 31-37 ページ
- 河田雅圭 (1989年) 『進化論の見方』紀伊國屋書店
- 河田雅圭 (1990年) 『はじめての進化論』講談社現代新書
- 河田雅圭 (1992年) 「永眠する今西全体論——次々と姿を変えた進化論」『アニマ 今西錦

- 司追悼号』第20巻10号, 60-61 ページ
- 河田雅圭 (1998年) 「ダーウィンの進化理論と現代の進化生物学——‘種の起源’はどう受け継がれているのか」『科学』第68巻, 943-950 ページ
- 河田雅圭 (2003年a) 「今西錦司」巖佐庸, 菊沢喜八郎, 松本忠夫, 日本生態学会編『生態学事典』(共立出版) 所収
- 河田雅圭 (2003年b) 「種分化機構の解明と生物多様性進化」『日本進化学会ニュース』第3巻2-3号, 14-18 ページ
- 河田雅圭 (2006年) 「なぜいまさら今西錦司なのか」『生物科学』第57巻, 171 ページ
- 川那部浩哉 (1992年) 「今西錦司さんの生態的論理の世界——『論理』と『世界』を読んで」『アニマ 今西錦司追悼号』第20巻10号, 34-35 ページ
- 環境省関東地方環境事務所 (2013年) 『那須平成の森生物多様性モニタリング等業務報告書 資料編』愛植物設計事務所
- 環境庁自然保護局生物多様性センター (1999年) 『97 身近な生き物調査 調査結果』環境庁自然保護局生物多様性センター
- 岸由二 (1982年) 「今西進化論とダーウィン進化論」『科学朝日』第42巻4号, 59-63 ページ (川喜田二郎編『今西錦司——その人と思想』[1989年, ペリかん社刊] に再録)
- 岸由二 (1986年) 「戦後日本の生態学における進化理解の転換」『生物科学』第38巻, 104-110 ページ
- 岸由二 (1987年) 「異論が主流だった日本での論議」『科学朝日』第47巻5号, 54-59 ページ
- 岸由二 (1990年) 「今西進化論現象を読む——人気を支える社会的背景は?」『進化論を愉しむ本』(JICC出版局) 所収
- 岸由二 (1991年) 「行動生態学の適応論」柴谷篤弘, 長野敬, 養老猛司編『講座進化 第2巻 進化思想と社会』(東京大学出版会) 所収
- 岸由二 (1992年) 「もう一つの対米欧戦——なぜ『種の哲学』は支持されたのか」『アニマ 今西錦司追悼号』第20巻10号, 60 ページ
- 岸由二 (1993年) 「『種社会』と国家」『現代思想』第21巻, 220-225 ページ
- 岸由二 (1996年) 『自然へのまなざし——ナチュラリストたちの大地』紀伊國屋書店
- 祁建民 (2007年) 「蒙疆政府年表」『県立長崎シーボルト大学国際情報学部紀要』第8号, 249-270 ページ
- 北原隆 (1982年) 「テイヤールと今西における進化論」『科学基礎論研究』第16巻, 54-58 ページ
- 鬼頭秀一 (1989年) 「ルイセンコ学説事件——徳田御稔」科学朝日編『スキヤングルの科学史』(朝日新聞社) 所収
- 木村資生 (1988年) 『生物進化を考える』岩波新書
- 栗田吉治 (2009年) 「造られた森, 明治神宮の森に学ぶ」平成21年度上期, 第5回「森に親しむ講座」資料
- S. J. グールド (1995年) 『ダーウィン以来——進化論への招待』ハヤカワ文庫
- S. J. グールド (1987年) 『個体発生と系統発生——進化の観念史と発生学の最前線』工務舎
- P. クレイン (2014年) 『イチョウ 奇跡の2億年史——生き残った最古の樹木のお話』河

出書房新社

- 黒岩武一 (1977年) 「環境の変化に知恵を絞る帰化鳥」『科学朝日』第37巻12号, 7-12ページ
- 桑原武夫 (1966年) 「序にかえて」川喜田二郎, 梅棹忠夫, 上山春平編『人間——人類学的研究』(中央公論社) 所収
- 桑原武夫 (1974年) 「解題」『今西錦司全集 第3巻』(講談社) 所収
- A. ケストラー (1969年) 『機械の中の幽霊』ペリかん社
- A. ケストラー (1974年) 『偶然の本質』蒼樹書房
- W. ケーラー (1962年) 『類人猿の知恵試験』岩波書店
- 小坂洋右 (2005年) 『破壊者のトラウマ——原爆科学者とパイロットの数奇な運命』未来社
- 小林勇介 (2010年) 「GISを用いた竹林の分布変化の研究——京都府西南部における事例」『地理学論集』第85巻, 42-50ページ
- 小山順 (2004年) 『犯人よ, 話してくれてありがとう 長野生坂ダム事件の真相を追った母の23年』朝日新聞社
- H. コリンズ, T. ピンチ (1997年) 『七つの科学事件ファイル』化学同人
- T. ゴールドシュミット (1999年) 『ダーウィンの箱庭ヴィクトリア湖』草思社
- 近藤晃, 加藤徹, 伊藤愛 (2014年) 「モウソウチク林の皆伐後における再生竹の持続的な刈り取りが広葉樹林化に及ぼす影響」『静岡県農林技術研究所研究報告』第7号, 71-76ページ
- 近藤誠 (2003年) 『大学病院が患者を死なせるとき』講談社プラスアルファ文庫
- 斎藤清明 (1989年) 『今西錦司——自然を求めて』松籟社
- 斎藤清明 (2011年) 「大興安嶺探検のマル秘『報告書』と再訪の旅」『京都大学学士山岳会 Newsletter』第58号, 14-18ページ
- 斎藤清明 (2013年a) 「西北研究所と『冬のモンゴル』を巡って」『京都大学学士山岳会 Newsletter』第63号, 5-10ページ
- 斎藤清明 (2013年b) 「フィールド科学をかんがえる: 西北研究所を原点にして」『ヒマラヤ学誌』第14号, 130-139ページ
- 斎藤清明 (2014年) 『今西錦司伝——「すみわけ」から自然学へ』ミネルヴァ書房
- 酒井一彦 (1992年) 「サンゴ群集の大規模攪乱と攪乱後の群集回復」『生物物理』第32巻, 47-49ページ
- 坂上昭一 (1975年) 「今西さんと私」月報『今西錦司全集 第8巻』6-8ページ
- 坂本直子 (2007年) 「市井の生物学者 小田柿進二の人と遺品」『綾瀬市史研究』第10号, 147-168ページ
- 佐倉統 (1993年) 「人間の言語と動物の〈言語〉」『科学基礎論研究』第21巻, 1-7ページ
- 佐倉統 (1998年) 「書評 池田清彦——さよならダーウィニズム」『科学』第68巻, 437-439ページ
- 佐倉統 (2000年) 「科学と非科学のはざままで——日本の霊長類学はどこまで日本的か?」『霊長類生態学——環境と行動のダイナミズム』(京都大学学術出版会) 所収
- 佐倉統 (2006年) 「今西錦司再訪」『生物科学』第57巻, 129ページ
- 佐倉統, 澤口俊之, 宮藤浩子, 吉久保真一 (1988年) 「今西理論の影響は弱まっている」L. B. ホールステッド『「今西進化論」批判の旅』(築地書館) 所収
- 佐藤重平 (1982年) 「柴谷により批判された今西進化論の思想的背景」『染色体』通号2-

25, 748-759 ページ

- 佐藤直樹 (2011 年) 「生命現象は物理学や化学で説明し尽くされるか」『日本科学哲学会第 44 回大会ワークショップ資料』
- 佐藤典雅 (2013 年) 『ドアの向こうのカルト——9 歳から 35 歳まで過ごしたエホバの証人の記録』河出書房新社
- S. S. = ランバウ (1992 年) 『チンパンジーの言語研究——シンボルの成立とコミュニケーション』ミネルヴァ書房
- S. サベージ=ランポー (古市剛史監修) (1993 年) 『カンジ——言葉を持った天才ザル』NHK 出版
- S. サベージ=ランバウ, R. ルーウィン (1997 年) 『人と話すサル「カンジ」』講談社
- 澤口俊之 (1986 年) 「今西進化論の解体と再構成の試み——同時共有変化仮説」川喜田二郎監修『今西錦司——その人と思想』(ベリかん社) 所収
- R. シェルドレイク (1986 年) 『生命のニューサイエンス』工作舎
- R. シェルドレイク (1997 年) 『世界を変える七つの実験——身近にひそむ大きな謎』工作舎
- R. シェルドレイク (2003 年) 『あなたの帰りがわかる犬』工作舎
- 四国外来鳥類研究会 (2007 年) 『四国地域におけるチメドリ科外来鳥類の定着実態の解明』四国外来鳥類研究会
- 四手井綱英 (1974 年) 「今西さんのこと」月報『今西錦司全集 第 1 巻』講談社
- 四手井綱英 (1989 年) 「今西錦司——三高山岳部の先輩たち」川喜田二郎編『今西錦司——その人と思想』(ベリかん社) 所収
- 柴田善雅 (2004 年) 「陸軍軍命商社の活動——昭和通商株式会社覚書」『中国研究月報』第 58 巻 5 号, 1-19 ページ
- 柴谷篤弘 (1981 年) 『今西進化論批判試論』朝日出版社
- 柴谷篤弘 (1982 年) 『私にとって科学とは何か』朝日新聞社
- 柴谷篤弘 (1985 年 a) 「動的平衡から出発して構造主義に至る」『生物物理』第 25 巻 4 号, 178-80 ページ
- 柴谷篤弘 (1985 年 b) 「構造主義生物学の現在」『生物科学』第 40 巻, 181-84 ページ
- 柴谷篤弘 (1985 年 c) 『構造主義生物学原論』朝日出版社
- 柴谷篤弘 (1986 年 a) 「進化についての私見」『霊長類研究』第 2 巻, 3-4 ページ
- 柴谷篤弘 (1986 年 b) 「自然学の可能性 2. 生物学ではやっとな構造主義がはじまるか」『中央公論』第 101 巻, 161-169 ページ
- 柴谷篤弘 (1988 年) 「序」池田清彦『構造主義生物学とは何か』(海鳴社) 所収
- 柴谷篤弘編 (1989 年) 『構造主義をめぐる生物学論争』吉岡書店
- 柴谷篤弘 (1992 年 a) 「生物学に新たな道を開く——近代構造主義を先取り」『朝日新聞』6 月 16 日夕刊
- 柴谷篤弘 (1992 年 b) 「今西進化思想を構造主義として解読する——新たな生物学創造の土壌」『アニマ 今西錦司追悼号』第 20 巻 10 号, 57-59 ページ
- 柴谷篤弘 (1999 年 a) 「オオシモフリエダシヤクの工業暗化(1)」『昆虫と自然』第 34 巻 4 号, 34-36 ページ
- 柴谷篤弘 (1999 年 b) 『構造主義生物学』東京大学出版会

- 柴谷篤弘, 法橋登, 斎藤嘉文編 (1991年) 『生物学にとって構造主義とは何か』 (吉岡書店) 所収
- 柴谷篤弘, 養老孟司 (1995年) 『恐龍が飛んだ日——尺度不変性と自己相似』 ちくま文庫
- 渋谷章 (1979年) 『回想のモーリッシュ——ある自然科学者の人間像』 内田老鶴圃新社
- 渋谷章 (1987年) 『牧野富太郎——私は草木の精である』 リプロボート
- 渋谷寿夫 (1958年) 「可児藤吉氏の生涯と生態学説——日本の動物生態学現代史の一章」 『科学史研究』 第46号, 1-9ページ
- 島田和則, 福嶋司 (2010年) 「都市林の変遷からみた先駆性高木種イイギリ *Idesia polycarpa* Maxim. の動態」 『植生学会誌』 第27巻 21-33ページ
- 清水善和 (2010年) 『小笠原諸島に学ぶ進化論——閉ざされた世界の特異な生き物たち』 技術評論社
- 下村寅太郎 (1974年) 「処女作の頃」 月報『今西錦司全集 第1巻』 講談社
- J. シュヴァリエ (1969年) 『ベルクソンとの対話』 みすず書房
- R. シュペーマン, R. レーヴ (1987年) 『進化論の基盤を問う——目的論の歴史と復権』 東海大学出版会
- A. ショーペンハウアー (1973年) 「個人の運命に宿る意図らしきものについての超越的思弁」 『ショーペンハウアー全集 第10巻』 白水社
- 白上謙一 (1972年) 『生物学と方法——発生細胞学とはなにか』 河出書房新社
- 新里達也 (2014年) 「百年の森に向けた第二次境内総合調査」 『グリーン・エージ』 7月号, 8-9ページ
- 心霊研究協会 (1993年) 「心霊研究協会の目的」 笠原敏雄編 『超常現象のとらえにくさ』 (春秋社) 所収
- 杉山幸丸 (1995年) 「動物の道具使用と人類文化発生の条件」 『霊長類研究』 第11巻, 215-223ページ
- 鈴木重雄 (2008年) 「竹林の拡大特性とそれに基づく持続可能な管理手法の開発」 広島大学大学院国際協力研究科 (博士論文)
- 鈴木重雄 (2010年) 「竹林の分布拡大過程における土地利用履歴の影響——広島県竹原市小吹集落の事例」 『地理学評論』 第83巻, 524-534ページ
- 鈴木誠, 村川功雄, 塚越剛史 (2009年) 「モウソウチクの開花枯損と回復状況」 『大会講要』 2A09
- S. M. スタンレー (1992年) 『進化——連続か断続か』 岩波書店
- I. スティーヴンソン (1981年) 『虫の知らせの科学』 叢文社
- I. スティーヴンソン (1984年) 「『完璧』な生まれ変わり例」 笠原敏雄編 『死後の生存の科学』 (叢文社) 所収
- I. スティーヴンソン (1990年) 『前世を記憶する子どもたち』 日本教文社
- I. スティーヴンソン (1995年) 『前世の言葉を話す人びと』 春秋社
- I. スティーヴンソン (1998年) 『生まれ変わりの刻印』 春秋社
- I. スティーヴンソン (2005年) 『前世を記憶する子どもたち 2. ヨーロッパの事例から』 日本教文社
- N. P. スパノス, V. ウィリアムズ, M. I. グウィン (2002年) 「いぼの退縮に対する

- 催眠療法, 偽薬, サリチル酸治療の効果」笠原敏雄編『偽薬効果』〔春秋社〕所収
- H. スピーゲル (2002年) 「反偽薬——被暗示性の力」笠原敏雄編『偽薬効果』(春秋社) 所収
- 瀬戸口明久 (2010年) 「ダーウィンを記念する——日本における進化論受容をめぐる歴史認識の形成」『生物学史研究』第63号, 1-19ページ
- 瀬野文教 (2003年) 「訳者あとがき——ハンス・モーリッシュの人生について」H. モーリッシュ『植物学者モーリッシュの大正ニッポン観察記』(草思社) 所収
- J. ダイアモンド (2000年) 『銃・病原菌・鉄 上下』草思社
- C. ダーキン (1896年) 『生物始源 一名種源論』経済雑誌社
- C. ダーウィン (1905年) 『種の起原——生存競争適者生存の原理』東京開成館
- C. ダーウィン (1924年) 『種の起原』太陽堂
- C. ダーウィン (2009年) 『種の起源 上下』光文社古典新訳文庫
- 高木昌興, 高橋満彦 (1997年) 「スズメ目鳥類3種のトビの巣における営巣記録」『Strix』第15巻, 127-129ページ
- 高桑正敏 (2014年) 「蝶類のこの60年間の移り変わり」『グリーン・エージ』7月号, 27ページ
- 高崎浩幸 (1984年) 「今西セミナー『自然学の会』空の報告」『生物科学』第36巻2号, 94-98ページ
- 高見澤潤子 (1985年) 『兄小林秀雄』新潮社
- 瀧本岳, 長谷川雅美 (2011年) 「すぐに増える, ゆっくり増える, やがて消える?」西川潮, 宮下直編『外来生物——生物多様性と人間社会への影響』(裳華房) 所収
- 田口寿子 (2005年) 「産後うつ病により子殺しを行った女性患者の治療をめぐる」『心と社会』第120号, 66-72ページ
- 武田享, 櫻井宏紀 (1988年) 「岐阜県におけるアオマツムシの分布及び産卵樹」『岐阜大学農学部研究報告』第53号, 105-114ページ
- 田隅三生 (2012年) 「次兄本生のこと」(<http://sapiarc.web.fc2.com/Essay/2012/2012-06.pdf>) 2015年5月18日アクセス
- 田隅本生 (1992年) 「今西進化論と対決したホールステッド——国際的討論への経過」『アニマ 今西錦司追悼号』第20巻10号, 62-64ページ
- 館雅子 (2002年) 『挑戦! しなやかに』日本評論社
- 館正知 (1975年) 「岐阜大学長今西錦司」月報『今西錦司全集 第5巻』講談社
- 立花隆, 今西錦司 (1986年) 「序章 ヒトとサル」立花隆『サル学の現在』(平凡社) 所収
- J. タッカー (2006年) 『転生した子どもたち——ヴァージニア大学・40年の「前世」研究』日本教文社
- 谷田一三 (2002年) 「日本の水生昆虫と今西カゲロウ学」今西錦司『採集日記 加茂川 1935—今西錦司フィールドノート』(京都大学学術出版会) 所収
- 田村淳, 入野彰夫, 勝山輝明, 青砥航次, 奥津昌哉 (2011年) 「ニホンジカにより退行した丹沢山地の冷温帯自然林における植生保護柵による希少植物の保護状況と出現に影響する要因の検討」『保全生態学研究』第16巻, 195-203ページ
- 鎮座百年記念第二次明治神宮境内総合調査委員会 (2013年) 『鎮座百年記念第二次明治神宮境内総合調査報告書』明治神宮社務所

- 津田松苗, 御勢久右衛門 (1964年) 「川の瀬における水生昆虫の遷移」『生理生態』第12巻, 243-251 ページ
- P. テイヤール・ド・シャルダン (1969年) 『現象としての人間』みすず書房
- H. S. テラス (1986年) 『ニム——手話で語るチンパンジー』思索社
- 東京たま広域資源循環組合 (2010年) 『25年間の生き物の移り変わり——処分場事業と動植物の変遷』東京たま広域資源循環組合
- 同志社山脈編集委員会 (2003年) 『同志社山脈——113人のプロフィール』晃洋書房
- 同志社大学アメリカ研究所編 (1977年) 『あるリベラリストの回想——湯浅八郎の日本とアメリカ』日本YMCA同盟出版部
- 當間隆代 (2011年) 『波の伊八』伊八会
- 當間隆代 (2015年) 『武志伊八郎信由作品集』伊八会
- 陶烈 (陶熾編) (1933年) 『陶烈論文集 第1』同仁会
- F. ドゥ・ヴァール (2002年) 『サルとすし職人——「文化」と動物の行動学』原書房
- F. ドゥバル (2003年) 「静かな侵入——今西霊長類学と科学における文化的偏見」『エコソフィア』第11号、75-84 ページ
- 杜霞, 藤井久雄 (2014年) 「異なる濃度の常圧低酸素暴露がラットの腹腔内脂肪量と血液性状の変化に及ぼす影響」『仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士論文集』第15号, 145-150 ページ
- 徳田喜三郎 (1975年) 「今西先生と私」月報『今西錦司全集 第6巻』講談社
- 徳永雅明, 小田柿進二 (1939年) 「ムカシトンボの生態學的並びに組織學的研究」『吉田博士祝賀記念誌 第1巻 論文篇』(大阪博物學會) 472-496 ページ
- 徳永幸彦 (2001年) 『絵でわかる進化論』講談社
- 徳永幸彦 (2006年) 「今西近似——今西錦司がわれわれに残したもの」『生物科学』第57巻, 157-165 ページ
- E. M. トーマス (2011年) 『犬たちの隠された生活』草思社文庫
- 富山清升 (1994年) 「小笠原諸島における陸産貝類の絶滅要因」『貝類学雑誌』第53巻, 152-156 ページ
- 富山清升 (1998年) 「小笠原諸島の移入動植物による島嶼生態系への影響」『日本生態学会誌』第48巻, 63-72 ページ
- 富山清升 (2002年) 「小笠原の陸産貝類——脆弱な海洋島固有種とその絶滅要因」『森林科学』第34巻, 25-28 ページ
- R. トム (1991年) 「討論での発言」柴谷篤弘, 法橋登, 斎藤嘉文編『生物学にとって構造主義とは何か』(吉岡書店) 所収
- D. トムソン (1973年) 『生物のかたち』東京大学出版会
- 鳥居厚志 (2003年) 「周辺二次林に侵入拡大する存在としての竹林」『日本緑化工学会誌』第28巻, 412-16 ページ
- H. ドリーシュ (1928年) 「個性の問題」内山孝一『生物哲学研究』(大鏡閣) 所収
- H. ドゥリーシュ (1940年) 『形而上學』岩波書店
- H. ドリーシュ (1941年) 『人間と世界像』敵傍書房
- H. ドリーシュ (2007年) 『生氣論の歴史と理論』書籍工房早山

- D. A. トレフファート (1990 年) 『なぜかれらは天才的能力を示すのか——サヴァン症候群の驚異』 草思社
- N. P. ナウモフ (1971 年) 『動物生態学——個体・個体群・群集生態学』 ラティス
- 中池敏之 (2014 年) 「明治神宮のシダ相の盛衰」『グリーン・エージ』 7 月号, 17 ページ
- 中尾佐助 (1966 年) 『栽培植物と農耕の起源』 岩波新書
- 中尾佐助 (1978 年) 『現代文明ふたつの源流——照葉樹林文化・硬葉樹林文化』 朝日新聞社
- 中生勝美 (2000 年) 「内陸アジア研究と京都学派——西北研究所の組織と活動」 中生勝美編 『植民地人類学の展望』 (風響社) 所収
- 長尾眞 (2001 年) 「今西錦司生誕 100 周年記念シンポジウム 基調講演」 (http://www.sam-hi-ho.nc.jp/h-yagi/imanishi_sympto_1.html) 2015 年 5 月 18 日アクセス
- 中沢信午 (1986 年) 『超心理学者福来友吉の生涯』 大陸書房
- 長田敏行 (2014 年 a) 『イチョウの自然史と文化史』 裳華房
- 長田敏行 (2014 年 b) 「解説」 P. クレイン著 『イチョウ 奇跡の 2 億年史——生き残った最古の樹木の物語』 (河出書房新社) 所収
- 中武禎典 (2014 年) 「神宮の森の成長を毎木調査からよむ」『グリーン・エージ』 7 月号, 10-11 ページ
- 長野敬 (1986 年) 「今西進化論の見直し」『理想』 1 月号 (通号 632 号), 1-4 ページ
- 中野敏一 (2002 年) 「都市屋外のゴキブリ生息調査 III. 都市公園におけるゴキブリ夜間観察」『ペストロジー学会誌』 第 17 巻, 21-28 ページ
- 中村一恵 (1990 年) 『スズメもモンシロチョウも外国からやって来た——帰化動物と日本の自然』 PHP 研究所
- 中村一恵 (1994 年) 『帰化動物のはなし』 技報堂出版
- 中村禎里 (1990 年) 「メンデルのエレメントとはなにか——池田清彦氏の見解に触発されて」『生物学史研究』 第 53 巻, 21-27 ページ
- 中原中也 (1968 年) 『中原中也全集 第 4 巻 日記・書簡』 角川書店
- 夏原由博 (2000 年) 「都市近郊の環境傾度に沿ったチョウ群集の変化」『ランドスケープ研究』 第 63 巻, 515 - 518 ページ
- 成瀬悟策 (1997 年) 『催眠の科学——誤解と偏見を解く』 講談社ブルーバックス
- 西川僚子他 (2005 年) 「隣接する土地被覆別にみた竹林分布変化の特徴」『日本森林学会誌』 第 87 巻, 402-409 ページ
- 西田幾多郎 (1965 年) 「哲學論文集 第二」『西田幾多郎全集 第八巻』 (岩波書店) 所収
- 西田利貞 (1992 年) 「霊長類における援助行動の進化」柴谷篤弘, 長野敬, 養老猛司編 『講座進化 第 7 巻 生態学からみた進化』 (東京大学出版会) 所収
- 西田利貞 (2003 年) 「霊長類の研究と今西錦司」『科学』 第 73 巻, 1340-1343 ページ
- 西田利貞 (2004 年) 「集団対抗遊技は, ヒト特有の行動特徴か」『霊長類研究 Supplement』 第 20 巻, 2 ページ
- 西田利貞 (2007 年) 『人間性はどこから来たか——サル学からのアプローチ』 京都大学学術出版会
- 西森マリー (2011 年) 『レッド・ステイツの真実——アメリカの知られざる実像に迫る』 研究社

- 丹羽文夫 (1993 年) 『日本の自然観の方法——今西生態学の意味するもの』農文協
- 沼沢健一, 小谷野伸二, 武田直邦, 高柳博 (1988 年) 「小笠原諸島父島および母島における
アフリカマイマイ *Achatina fulica* Férussac の生息状況」『日本応用動物昆虫学会誌』第 32 卷,
176–181 ページ
- 沼田真 (1974 年) 「今西生態学との出あい」月報『今西錦司全集 第 4 卷』講談社
- 沼田真 (1977 年) 「植物群落と他感作用」『化学と生物』第 15 卷, 412–418 ページ
- 野家啓一 (2002 年) 「主体と環境の生命論——西田幾多郎と今西錦司」『日本の哲学』第 3 号,
29–51 ページ
- 野田坂伸也 (1972 年) 「スバルライン沿道の植生破壊の原因と対策」『造園雑誌』第 36 卷 2 号,
48–65 ページ
- 萩原信介 (1977 年) 「都市林におけるシュロとトウジュロの異常繁殖 I. 種子の散布と定
着」『自然教育園報告』第 7 号, 19–31 ページ
- 萩原信介 (1979 年) 「都市林におけるシュロとトウジュロの異常繁殖 II. 自然教育園にお
ける分布の拡大と分布型について」『自然教育園報告』第 9 号, 1–11 ページ
- 萩原信介 (n.d.) 「変貌してきた白金の森 (附属自然教育園)」[https://www.kahaku.go.jp/
research/researcher/my_research/meguro/hagiwara/index_vol2.html](https://www.kahaku.go.jp/research/researcher/my_research/meguro/hagiwara/index_vol2.html)
- バク, ヨンミ (2015 年) 『生きるための選択』辰巳出版
- 橋本琢磨 (2009 年) 「小笠原におけるネズミ類の根絶とその生態系に与える影響」『地球環境』
第 14 卷, 93–101 ページ
- 橋本佳延, 田村和也, 服部保 (2007 年) 「兵庫県におけるマダケおよびモウソウチクでのタ
ケ類天狗巣病の発症状況」『人と自然』第 18 号, 39–44 ページ
- S. パスリチャ (1994 年) 『生まれ変わりの研究——前世を記憶するインドの人々』日本教
文社
- 長谷川真理子 (2009 年) 「生命科学と社会 2009」(<http://id.nii.ac.jp/1013/00002203/>) 2015 年
6 月 15 日アクセス
- H. パタソン (1991 年) 「種についての一見解」柴谷篤弘, 法橋登, 斎藤嘉文編『生物学にとつ
て構造主義とは何か』(吉岡書店) 所収
- C. パターソン (2001 年) 『現代進化学入門』岩波書店
- F. P. パターソン (2002 年) 『ココ——ゴリラと子ネコの物語』あかね書房
- F. パターソン, E. リンデン (1984 年) 『ココ, お話しよう』どうぶつ社
- K. バチェルダ (1993 年) 「会席者グループにおける念力」笠原敏雄編『超常現象のとら
えにくさ』(春秋社) 所収
- S. ハッサン (2007 年) 『マインド・コントロールからの救出』教文館
- A. バーディック (2009 年) 『罅りゆく楽園』ランダムハウス講談社
- T. X. バーバー (2008 年) 『もの思う鳥たち——鳥類の知られざる人間性』日本教文社
- 濱野周泰 (2014 年) 「種子植物は森の主役」『グリーン・エージ』7 月号, 16 ページ
- 早木仁成 (2013 年) 「チンパンジーの狩猟行動——人類進化における狩猟の出発点を考える」
『交替劇 A-02 班研究報告書』No.3, 67–71 ページ
- 早矢仕有子 (2015 年) 「北海道の外来鳥類とペット販売——カササギの定着は稀な例外か」『札
幌法学』第 26 卷 1/2 号, 171–188 ページ

- 林郁夫 (1998 年) 『オウムと私』 文藝春秋
- 林紘義 (2000 年) 「講談師、見てきたようなウソを言い——今西錦司の『進化論なき進化論』
『プロメテウス』第 38 号, 36-119 ページ
- O. ハーマン (2011 年), 『親切的な進化生物学者——ジョージ・ブライスと利他行動の対価』
みすず書房
- 原田正治, 前川ヨウ (2004 年) 『弟を殺した彼と、僕』 ポプラ社
- 原山煌 (1999 年) 「追悼 藤枝晃先生——西北研究所のまえとあと」 『内陸アジア史研究』
第 14 号, 111-114 ページ
- L. ハワード (1980 年) 『小鳥との語らい』 思索社
- 日浦勇 (1973 年) 『海をわたる蝶』 蒼樹書房
- 東山魁夷, 今西錦司, 江上波夫, 日野啓三 (1983 年) 『日野啓三対談集 創造する心』 読売
新聞社
- 樋口敬二 (1975 年) 「氷河生態調査の構想」 月報『今西錦司全集 第 8 巻』 講談社
- 日高敏隆 (1992 年) 「種は変るべくして変る——今西進化論とは何だったのか」 『アニメ
今西錦司追悼号』 第 20 巻 10 号, 53-55 ページ
- F. ヒッチング (1983 年) 『キリンの首——ダーウィンはどこで間違ったか』 平凡社
- 日野啓三, 今西錦司 (1983 年) 「今西錦司——成るがままの世界」 日野啓三 『創造する心
——日野啓三対談集』 (読売新聞社) 所収
- 平井一正 (2014 年) 「人物抄 佐島敬愛『ロマンを追って八十年——佐島敬愛の人生』の書
評にかえて」 『京都大学学士山岳Newsletter』 第 70 号, 1-3 ページ
- 広木詔三 (2011 年) 「今西錦司の『種社会』概念の批判と「棲み分け原理」の擁護」 『文明
21』 第 27 号, 1-23 ページ
- R. ファウツ (2000 年) 『限りなく人類に近い類人猿が教えてくれたこと』 角川書店
- J. -H. ファーブル (2006 年 a) 『完訳ファーブル昆虫記 第 2 巻上』 集英社
- J. -H. ファーブル (2006 年 b) 『完訳ファーブル昆虫記 第 2 巻下』 集英社
- J. フォン・ユクスキュル (1995 年) 『生物から見た世界』 新思索社
- 藤枝晃 (原山煌, 森田憲司編) (1986 年) 「西北研究所の思い出——藤枝晃博士談話記録」 『奈
良史学』 第 4 号, 56-93 ページ
- 藤枝晃 (1992 年) 「半生を大きく分ける節目——西北研究所での今西錦司」 『アニメ 今西錦
司追悼号』 第 20 巻 10 号, 27 ページ
- 藤岡巖, 陶烈 (1923 年) 『ドリイシユの生命論』 泰光社
- 藤岡喜愛 (1971 年) 「書評 アーサー・ケストラーの『機械の中の幽霊』」 『季刊人類学』 第
2 巻 1 号, 166-185 ページ
- 藤岡喜愛 (1977 年) 「解説」 今西錦司 『人類の進化と未来』 (第三文明社) 所収
- 藤岡喜愛 (1986 年) 「書評 小田柿進二著『文明のなかの生物社会』」 『季刊人類学』 第 17 巻
3 号, 261-269 ページ
- O. プフングスト (2007 年) 『ウマはなぜ「計算」できたのか——「りこうなハンス効果」の発見』
現代人文社
- G. R. プライス (1987 年 a) 「科学と超自然現象」 笠原敏雄編 『サイの戦場——超心理学
論争全史』 平凡社

- G. R. プライス (1987年b) 「ラインとソウルに謝罪する」 笠原敏雄編『サイの戦場——超心理学論争全史』平凡社
- A. C. ブラックマン (1984年) 『ダーウィンに消された男』朝日新聞社
- V. E. フランクル (1993年) 『それでも人生にイエスと言おう』春秋社
- V. E. フランクル (2002年) 『夜と霧 新版』みすず書房
- 古市剛史 (1993年) 「カンジに出会ってしまったヒト」 S. サベージ-ランボー (古市剛史監修) 『カンジ——言葉をもった天才ザル』(NHK出版) 所収
- 古市剛史 (1999年) 「性の進化, ヒトの進化——類人猿ボノボの観察から」朝日新聞社
- S. フロイト (1970年) 『フロイト著作集』人文書院
- プロティノス (1980年) 「善なるもの一なるもの」田中美知太郎編『プロティノス・ポルピュリオス・プロクロス』(中央公論社) 所収
- C. ヘイズ (1953/1971年) 『密林から来た養女』法政大学出版会
- I. M. Pepperberg (2003年) 『アレックス・スタディ——オウムは人間の言葉を理解するか』共立出版
- I. ペーパーバーグ (2010年) 『アレックスと私』幻冬舎
- H. ベルクソン (1965年a) 『ベルクソン全集 5 精神のエネルギー』白水社
- H. ベルクソン (1965年b) 『ベルクソン全集 6 道徳と宗教の二源泉』白水社
- H. ベルクソン (1966年) 『ベルクソン全集 4 創造的進化』白水社
- H. ベルクソン (1969年) J. シュヴァリエ『ベルクソンとの対話』(みすず書房) 収録の言葉
- H. ベルクソン (1979年) 『道徳と宗教の二つの源泉』澤瀉久敬編『ベルクソン』(中央公論社) 所収
- H. ベルクソン (1992年) 『精神のエネルギー』第三文明社
- H. ベルクソン (2010年) 『創造的進化』ちくま学芸文庫
- D. ペルザー (2003年) 『“It” と呼ばれた子 完結編』ソニーマガジズ
- H. ベンソン (2002年) 「反偽薬効果——その歴史と生理学」 笠原敏雄編『偽薬効果』(春秋社) 所収
- J. ホイジンガ (1973年) 『ホモ・ルーデンス』中公文庫
- P. J. ボウラー (1987年) 『進化思想の歴史 上下』朝日新聞社
- J. T. ボナー (1982年) 『動物は文化をもつか』岩波書店
- K. ポパー (1995年) 『よりよき世界を求めて』未来社
- 堀輝三 (2004年) 「イチョウの渡海の歴史」『つくば生物ジャーナル』第3号, TJB200410TH (<http://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb/Vol3No10/TJB200410TH.html>) 2015年6月17日アクセス
- L. B. ホールステッド (1985年) 「今西進化論は現実に合うか?」『科学朝日』第45巻3号, 128-130 ページ
- L. B. ホールステッド (1988年) 『「今西進化論」批判の旅』築地書館
- A. ポルトマン (1961年) 『人間はどこまで動物か——新しい人間像のために』岩波新書
- 本多勝一 (1978年) 「人類の契約——随想風な序説として」『社会・文化・人類学——今西錦司博士古希記念論文集』中央公論社

- 本多勝一 (1991 年) 「輝ける青春の記録文学」今西錦司編『大興安嶺探検』(朝日文庫) 所収
- 本多勝一 (1992 年) 「自由な発想と行動——探検家としての今西錦司の生涯」『アニマ 今西錦司追悼号』第 20 巻 10 号, 39-41 ページ
- 本多勝一 (1998 年) 「今西錦司論」『本多勝一集 第 4 巻』(朝日新聞社) 所収
- 本多勝一 (2012 年) 『本多勝一, 探検の人生を語る』新日本出版社
- 本田靖春 (1992 年) 『評伝——今西錦司』山と溪谷社
- E. マイア (1994 年) 『進化論と生物哲学——進化学者の思索』東京化学同人
- 前川文夫 (1943 年) 「史前歸化植物について」『植物分類・地理』第 13 巻, 274-279 ページ
- 前河正昭, 中越信和 (1997 年) 「海岸砂地においてニセアカシア林の分布拡大がもたらす成帯構造と種多様性への影響」『日本生態学会誌』第 47 巻, 131-143 ページ
- 前迫ゆり, 藤脇崇裕, 金子有子 (2009 年) 「琵琶湖西岸流域におけるタブノキ個体群の分布と地域植生」『大学産業大学人間環境論集』第 8 号 (特別号), 39-55 ページ
- 前田禎三他 (1998 年) 「富士山のスバルライン開設に伴う森林植生の破壊と回復——30 年後の実態」『森林立地』第 40 巻, 43-47 ページ
- 牧野尚彦 (1997 年) 『ダーウィンよさようなら』青土社
- 牧野尚彦 (2002 年) 『ダーウィンとヒラメの眼——進化論をみなおす』青土社
- 馬世駿 (伊藤嘉昭訳) (1958 年) 「中国における飛蝗の個体数の変動」『日本応用動物昆虫学会誌』第 2 巻, 234 ページ
- 松岡茂 (1995 年) 「日本進出をはかる外国産鳥類」第 182 号, 16-21 ページ
- J. マックレノン (1987 年) 「E S P および超心理学に対するエリート科学者の態度」笠原敏雄編『サイの戦場』(平凡社) 所収
- 松崎嘉明, 奥富清 (2014 年) 「明治神宮の森林再生」『グリーン・エージ』7 月号, 12-14 ページ
- 松沢哲郎 (1991 年) 『チンパンジー・マインド』岩波書店
- 松沢哲郎 (2001 年) 「バイオニア・ワークとは何か?」『エコソフィア』第 8 号, 21-28 ページ
- 松沢哲郎 (2012 年) 「松沢哲郎」古屋裕子編『英語のバカヤロー』(泰文堂) 所収
- 松沢哲郎, 上野有理, 松野響, 林美里 (2003 年) 「『まね』と『ふり』」『科学』第 73 巻, 482-483 ページ
- 松永俊男 (2009 年) 『チャールズ・ダーウィンの生涯——進化論を生んだジェントルマンの社会』朝日新聞出版
- 松原正毅, 川勝平太, 日高敏隆, 本多勝一 (2003 年) 「今西錦司が発信するもの」『科学』第 73 巻, 1362-1375 ページ
- M. マーフィー, R. A. ホワイト (1984 年) 『スポーツと超能力』日本教文社
- 三上修 (2013 年) 『スズメ——つかず・はなれず・二千年』岩波書店
- 宮澤絵里, 鈴木惟司 (2013 年) 「東京都八王子市における移入鳥類ガビチョウの営巣場所と繁殖活動」『日本鳥学会誌』第 62 巻, 38-44 ページ
- 宮下和喜 (1977 年) 『帰化動物の生態学——侵略と適応の歴史』講談社ブルーバックス
- 宮地伝三郎編 (1958 年) 『ダーウィニズムと現代の諸科学——進化論 100 年記念』理論社
- 宮本常一 (1984 年) 『忘れられた日本人』岩波文庫

- 宮脇昭 (1960 年) 「TUXEN 教授とドイツ国立植生地図研究所の紹介」『日本生態学会誌』第 10 巻, 49-56 ページ
- 宮脇昭 (1970 年) 『植物と人間』NHK ブックス
- 宮脇昭 (1980 年) 「生物社会の秩序と公衆モラル」『公衆衛生』第 44 巻, 247-252 ページ
- 宮脇昭 (1990 年) 「生物社会のおきて」『写真測量とリモートセンシング』第 29 巻, 59-68 ページ
- 宮脇昭 (1991 年) 「沿岸地帯の生態と植生」『日本海学会誌』第 45 巻, 139-159 ページ
- 宮脇昭 (2013 年) 『森の力——植物生態学者の理論と実践』講談社現代新書
- 宮脇昭, 板橋興宗 (2000 年) 『鎮守の森』新潮社
- 宮脇昭, 佐々木寧, 藤原一絵 (1971 年) 『武蔵丘陵森林公園予定域の植生調査および緑化・自然復元計画報告書』日本公園緑地協会
- 宮脇昭, 藤原一絵, 小澤正明 (1993 年) 「ふるさとの木によるふるさと森づくり: 潜在自然植生による森林生態系の再生法——宮脇方式による環境保全林創造」『横浜国立大学環境科学研究センター紀要』第 19 巻, 73-107 ページ
- S. ミルグラム (1975 年) 『服従の心理』河出書房新社
- P. ミルワード (1978 年) 『イエスとその弟子』講談社現代新書
- 虫の落とし文 (2008 年) 「こんには! 渋谷の虫 56 アオマツムシ」(<http://mushino-otoshibumi.la.coocan.jp/sibuyamusi08/sibuyanomushi08.html>) 2015 年 10 月 30 日アクセス
- 村上陽一郎 (1982 年) 「人類の未来について——シャルダンと今西錦司」『日本テイヤール研究会誌』第 7 号, 15-16 ページ
- 室山泰之 (1998 年) 「霊長類における互惠的利他行動」『霊長類研究』第 14 巻, 165-178 ページ
- 明治神宮, 杜のみどころ (n.d.) 「明治神宮の自然・みどころ」(<http://www.meijijingu.or.jp/midokoro/04.html>) 2016 年 2 月 15 日アクセス
- 明治神宮社務所編 (1999 年) 『明治神宮の森の秘密』小学館文庫
- 明治神宮探鳥会レポート (2006 年) 「明治神宮探鳥会レポート~2006 年 2 月」(<http://www.asahi-net.or.jp/~ep3n-kizm/naturewalk/jingu/report/m0602.htm>) 2016 年 2 月 15 日アクセス
- R. メスナー (1983 年) 『死の地帯』山と溪谷社
- R. メスナー (1992 年) 『ラインホルト・メスナー自伝』ティビーエス・ブリタニカ
- 榎山政子, 今西錦司 (1979 年) 「山登りと生物学」榎山政子『私にとつての科学』(蒼樹書房) 所収
- 盛口満 (2016 年) 「琉球列島におけるシュロ (*Trachycarpus excelsus*) の消失」『沖縄大学人文学部紀要』第 18 号, 1-10 ページ
- 森下正明, 梅棹忠夫, 河合雅雄 (1975 年) 「今西錦司の世界を語る」今西錦司他『座談 今西錦司の世界』(平凡社) 所収
- 森主一 (1990 年) 「長期暗黒生活とショウジョウバエの変化」『科学』第 60 巻, 570-576 ページ
- H. モーリッシュ (2003 年) 『植物学者モーリッシュの大正ニッポン観察記』草思社
- D. モリス (1966 年) 『美術の発生——類人猿の画かき行動』法政大学出版局
- 谷亀高広 (2014 年) 「菌従属栄養植物の菌根共生系の多様性」『植物科学最前線』第 5 巻,

110-119 ページ

- 八杉龍一 (1965 年) 「人間の偉大さを『見る』こと」——私のテイヤール・ノート』『思想』
第 494 号, 1110-1118 ページ
- 八杉龍一 (1973 年) 『一生物学者の思索と遍歴』岩波書店
- 八杉龍一 (1985 年) 「人間観における自由と全体——生物学の歴史にたどる」『科学基礎論
研究』第 17 巻 3 号, 137-143 ページ
- 安田雅俊 (1998 年) 「東南アジア熱帯雨林における一斉開花結実現象の至近要因と進化要因」
『地球環境』第 3 巻 1 号, 11-20 ページ
- A. ヤノフ (1975 年) 『原初からの叫び——抑圧された心のための原初理論』講談社
- 山口輝臣 (2006 年) 「竹岡勝也の肖像 上」『史淵』第 143 号, 1-25 ページ
- 山崎浩子 (1994 年) 『愛が偽りに終わるとき』文藝春秋
- 山下京子 (1998 年) 『彩花へ「生きる力」をありがとう』河出書房新社
- 山鳥重 (1998 年) 『ヒトはなぜことばを使えるか』講談社
- 山根祐作 (2012 年) 「ブータン激動『世界でいちばん幸せな国』の未来」『AERA』7 月 6
日号
- 山本貴仁, 小川次郎, 佐伯英人, 今川義康 (2005 年) 「愛媛県におけるアオマツムシ (バッタ目:
マツムシ科) の分布」『愛媛県総合科学博物館研究報告』第 10 号, 1-21 ページ
- 山村靖夫他 (1999 年) 「小笠原におけるギンネム林の更新」『保全生態学研究』第 4 巻,
152-166 ページ
- 山本常雄 (1985 年) 『阿片と大砲——陸軍昭和通商の七年』PMC 出版
- 湯浅八郎 (1964 年) 「想い出」京都大学農学部創立四十周年記念事業会編『京都大学農学部
創立四十周年記念 歴史を語る』(京都大学農学部創立四十周年記念事業会) 所収
- 楊海英 (2018 年) 『「中国」という神話』文春新書
- 養老孟司 (1989 年 a) 『唯脳論』青土社
- 養老孟司 (1989 年 b) 『唯脳論』『日本ロボット学会誌』第 7 巻 5 号, 128-134 ページ
- 養老孟司, 池田清彦 (2012 年) 「生物学の内と外——柴谷篤弘とオルタナティブな科学」『現
代思想』第 40 巻 10 号, 58-72 ページ
- 養老孟司, 池田清彦, 吉岡忍 (2005 年) 「OPINION マンスリースコープ 養老孟司・池田清彦・
吉岡忍鼎談 テーマ『がんと生きる』」『AERA』第 18 巻 10 号, 68-70 ページ
- 吉岡斉 (1989 年) 『「構造主義生物学」に関する批判メモ (要旨)」柴谷篤弘編『構造主義を
めぐる生物学論争』(吉岡書店) 所収
- 吉田圭一郎, 岡秀一 (2000 年) 「小笠原諸島母島においてギンネムの生物学的侵入が二次植
生の遷移と種多様性に与える影響」『日本生態学会誌』第 50 巻, 111-119 ページ
- 好廣真一, 延原利和, 延原久美 (2010 年) 「ニホンザル淡路島上灘群の四肢奇形——近年の
出現」『社会科学研究年報』第 14 号, 135-141 ページ
- 米本昌平 (1974 年) 「エンテレヒーと情報概念」『生物学史研究』第 26 号, 12-21 ページ
- 米本昌平 (1975 年) 「私の科学史——陰画の再構成」『生物学史研究』第 27 号, 9-19 ページ
- 米本昌平 (1976 年) 「概念としての“ドリーシュ=ファシズムの衝撃”——現代生物学思想
史をどうみるか」『生物学史研究』第 30 号, 14-21 ページ
- 米本昌平 (1978 年) 「生氣論とは何であったか——知的衝撃としての H. Driesch」『科学基

- 『基礎研究』第13巻, 163–69 ページ
- 米本昌平 (1988年) 「思わぬ方向から現れたとてつもない才能 池田清彦『構造主義生物学とは何か』」『中央公論』6月号, 273–274 ページ
- 米本昌平 (1989年) 「衣笠討論会での発言」柴谷篤弘編『構造主義をめぐる生物学論争』吉岡書店
- 米本昌平 (1990年) 「先端医療の現代史的意見」『生態学的栄養学研究』第14号, 17–21 ページ
- 米本昌平 (2003年) 「分子生物学は生氣論を撲滅させたのか」『蛋白質 核酸 酵素』第48巻, 605–608 ページ
- 米本昌平 (2010年) 『時間と生命』書籍工房早山
- 米本昌平 (2015年) 「中村禎里の開いた地平・生物学と社会」『生物学史研究』第92号, 64–70 ページ
- C. J. ラムズデン, E. O. ウィルソン (1985年) 『精神の起源について』思索社
- E. リンデン (1978年) 『チンパンジーは語る』紀伊國屋書店
- E. リンデン (1988年) 『悲劇のチンパンジー』どうぶつ社
- 林野庁関東森林管理局東京事務所 (2010年) 「小笠原固有の生態系を保全・修復するための取組 IUCNへ11月15日に提出した侵略的な外来植物分布図一覧」(<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tokyo/ogawara/seitaikihozenn.html>) 2015年11月4日アクセス
- L. ルシヤン (1979年) 『ガンの感情コントロール療法』パシフィカ
- P. レイビー (2007年) 『博物学者アルフレッド・ラッセル・ウォレスの生涯』新思索社
- R. F. レスリー (1989年) 『ケースは毎日ハードボイルド——みなしごロレンツォが巣立つまで』早川書房
- T. ロックウェル (1987年b) 「エセ科学かエセ批判か」笠原敏雄編『サイの戦場——超心理学論争全史』(平凡社) 所収
- K. ローレンツ (1971年) 『ソロモンの指環』早川書房
- D. ロング, 稲葉慎 (2004年) 『小笠原ハンドブック』南方新社
- 渡辺一雄 (2011年) 「柴谷さんを偲ぶ——“本当の生物学”を求めて」『やどりが』第230号, 48–51 ページ
- Agar, W.E., Drummond, F.H., and Tiegs, O.W. (1942). Second report on a test of McDougall's Lamarckian experiments on the training of rats. *Journal of Experimental Biology*, 19, 158-67.
- Agar, W.E., Drummond, F.H., Tiegs, O.W., and Gunson, M.M. (1954). Fourth (final) report on a test of McDougall's Lamarckian experiments on the training of rats. *Journal of Experimental Biology*, 31, 307-21.
- Albertson, R.C., Markert, J.A., Danley, P.D., and Kocher, T.D. (1999). Phylogeny of a rapidly evolving clade: The cichlid fishes of Lake Malawi, East Africa. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 96, 5107-10.
- Aldrich-Blake, F.P.G. (1968). A fertile hybrid between two *Cervopithecus* spp. in the Budongo Forest, Uganda. *Folia Primatologica*, 9, 15-21.
- Allee, W.C. (1938). *The Social Life of Animals*. New York: W.W. Norton & Co.

- Allport, F.H. (1937). Teleonomic description in the study of personality. *Character and Personality*, 5, 202-14.
- Alvarado, C.S., and Zingrone, N.L. (1989). William McDougall, Lamarckism, and psychical research. *American Psychologist*, 44, 446-47.
- Anonymous. (1867). The origin of species. *The North British Review*, 46, 277-318.
- Anonymous. (2008). Hunter bags what expert 'never thought would happen' in wild, NBC News, May 11. Retrieved October 20, 2014, from the NBC News site: http://www.nbcnews.com/id/12738644/ns/world_news-world_environment/t/wild-find-half-grizzly-half-polar-bear/
- Anonymous. (2012). As Arctic melts, polar and grizzly bears mate. *Spiegel*, October 3. Retrieved October 20, 2014, from the Spiegel Online International site: <http://www.spiegel.de/international/world/polar-bears-and-grizzlies-producing-hybrid-offspring-as-arctic-melts-a-859218.html>.
- Asquith, P.J. (1981). Some aspects of anthropomorphism in the terminology and philosophy underlying Western and Japanese studies of the social behaviour of non-human primates. Doctoral thesis submitted to the Linacre College, Trinity, Cambridge.
- Asquith, P.J. (1986). Scientific correspondence: Imanishi's impact in Japan. *Nature*, 323, 675-76.
- Asquith, P.J. (1989). Provisioning and the study of free-ranging primates: History, effects, and prospects. *Yearbook of Physical Anthropology*, 32, 129-58.
- Asquith, P.J. (1996). Japanese science and Western hegemonies: Primatology and the limits set to questions. In L. Nader (ed.), *Naked Science: Anthropological Inquiry into Boundaries, Power and Knowledge* (pp. 239-56). New York: Routledge.
- Asquith, P.J. (1997). Why anthropomorphism is not metaphor: Crossing concepts and cultures in animal behavior studies. In R.W. Mitchell, N.S. Thompson & H.L. Miles (eds.), *Anthropomorphism, Anecdotes, and Animals* (pp. 22-34). New York: State University of New York Press.
- Asquith, P.J. (2000). Negotiating science: Internationalization and Japanese primatology. In S. Strum & L.M. Fedigan (eds.) *Primate Encounters: Models of Science, Gender, and Society* (pp.165-83). Chicago, IL: University of Chicago Press.
- Asquith, P.J. (2002). Introduction to K. Imanishi, *A Japanese View of Nature: The World of Living Things*. London: RoutledgeCurzon.
- Asquith, P.J. (2007a). Sources for Imanishi Kinji's views of sociality and evolutionary outcomes. *Journal of Bioscience*, 32, 635-41.
- Asquith, P.J. (2007b). Kinji Imanishi (1902-92). In G. Ritzer (ed.), *The Blackwell Encyclopedia of Sociology* (pp. 2249-52). Malden, MA & Oxford, UK: Blackwell Publishing.
- Asquith, P.J. (2011). Of bonds and boundaries: What is the modern role of anthropomorphism in primatological studies? *American Journal of Primatology*, 73, 238-44.
- Astin, J.A., Harkness, E., and Ernst, E. (2000). The efficacy of "distant healing": A systematic review of randomized trials. *Annals of Internal Medicine*, 132, 903-10.
- Barber, B. (1961). Resistance by scientists to scientific discovery. *Science*, 134, 596-602.
- Barry, J. (1968). General and comparative study of the psychokinetic effect on a fungus culture.

- Journal of Parapsychology*, 32, 237-43.
- Bartholomew, J.R. (1989). *The Formation of Science in Japan: Building a Research Tradition*. New Haven and London: Yale University Press.
- Béchar, D.Y. (2012). Bonobo diaries: A conversation with Sue Savage-Rumbaugh. Retrieved February 8, 2014, from the maisonneuve.org site: <http://maisonneuve.org/post/2012/01/20/bonobo-diaries-conversation-sue-savage-rumbaugh/>
- Bechterev, V.M. (1949). Direct influence of a person upon the behavior of animals. *Journal of Parapsychology*, 13, 166-76.
- Beddall, B.G. (1968). Wallace, Darwin, and the theory of natural selection: A study in the development of ideas and attitudes. *Journal of the History of Biology*, 1, 261-323.
- Beecher, H.K. (1949). *Resuscitation and Anesthesia for Wounded Men: The Management of Traumatic Shock*. Chicago, IL: Charles C. Thomas.
- Befu, H. (2007). Ecological view of history. In G. Ritzer (ed.), *The Blackwell Encyclopedia of Sociology* (pp. 1286-89). Malden, MA & Oxford, UK: Blackwell Publishing.
- Beloff, J. (1964). *The Existence of Mind*. New York: Citadel Press.
- Bengston, W.F. (2010). Breakthrough: Clues to healing with intension. *Edge Science*, No. 2, Jan/Mar., pp. 5-9.
- Bengston, W.F. (2012a). Spirituality, connection, and healing with intent: Reflections on cancer experiments on laboratory mice. In L.J. Miller (ed.), *The Oxford Handbook of Psychology and Spirituality* (pp. 548-57). New York: Oxford University Press.
- Bengston, W.F. (2012b). The boggle factor. *EdgeScience*, No. 12, Oct-Dec., pp. 3-5.
- Bengston, W.F., and Krinsley, D. (2000). The effect of the “laying on of hands” on transplanted breast cancer in mice. *Journal of Scientific Exploration*, 14, 353-64.
- Bengston, W.F., and Moga, M. (2007). Resonance, placebo effects, and Type II errors: Ssome implications from healing research for experimental methods. *Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 13, 317-27.
- Bengston, W.F., and Murphy, D. (2008). Can healing be taught? *Explore*, 4, 197-200.
- Benor, D.J. (1993). *Healing Research: Holistic Energy Medicine and Spirituality*. vol. 1. Deddington, Oxfordshire: Helix.
- Benor, D.J. (2000). Distant healing. *Subtle Energies & Energy Medicine*, 11, 249-64.
- Bergson, H. (trans. by A. Mitchell).(1911). *Creative Evolution*. New York: Henry Holt & Co.
- Bergson, H. (trans. by H.W. Carr).(1920). *Mind-Energy: Lectures and Essays*. New York: Henry Holt & Co.
- Bergson, H.(trans. by R.A. Audra & C. Brereton) (1935). *The Two Sources of Morality and Religion*. London: Macmillan.
- Blackburn, T.M., Monroe, M.J., Lawson, B., Cassey, P., and Ewen, J.G. (2013). Body size changes in passerine birds introduced to New Zealand from the UK. *NeoBiota*, 17, 1-18.
- Boakes, R.A. (2010). Darwin and animal behavior. In M.D. Breed & J. Moore (eds.) *Encyclopedia of Animal Behavior* (pp. 454-460). Oxford: Elsevier.
- Bonner, J.T. (1989). Rules of conduct: *Dynamic Structures in Biology*, edited by B. Goodwin, A.

- Sibatani & G. Webster. Edinburgh University Press: 1989. *Nature*, 342, 629-30.
- Braud, W.G. (2003). *Distant Mental Influence: Its Contributions to Science, Healing, and Human Interactions*. Newburyport, MA: Hampton Roads Publishing.
- Braud, W.G. (2005). The sense of being stared at: Fictional, physical, perceptual, or attentional/intentional? *Journal of Consciousness Studies*, 12, 66-71.
- Braud, W., and Schlitz, M. (1989). A methodology for the objective study of transpersonal imagery. *Journal of Scientific Exploration*, 3, 43-63.
- Briggs, J.C. (2010). Marine biology: The role of accommodation in shaping marine biodiversity. *Marine Biology*, 157, 2117-26.
- Briggs, J.C. (2013). Invasion ecology: Origin and biodiversity effects. *Environmental Skeptics and Critics*, 2, 73-81.
- Briggs, J.C., and Bowen, B. (2013). Marine shelf habitat: Biogeography and evolution. *Journal of Biogeography*, 40, 1023-35.
- Brown, J.H. (1986). Two decades of interaction between the MacArthur-Wilson model and the complexities of mammalian distributions. *Biological Journal of the Linnean Society*, 28, 231-51.
- Bulmer, M. (2004). Did Jenkin's swamping argument invalidate Darwin's theory of natural selection? *British Journal of the History of Science*, 37, 281-97.
- Burkhardt, F.H. (2001). Darwin and the Copley Medal. *Proceedings of the American Philosophical Society*, 145, 510-18.
- Cain, A.J., and Currey, J.D. (1963). The causes of area effects. *Heredity*, 18, 467-71.
- Cain, A.J., and Sheppard, P.M. (1954). Natural selection in *Cepaea*. *Genetics*, 39, 89-90.
- Cannon, H.G. (1959). *Lamarck and Modern Genetics*. Manchester: University of Manchester at the University Press.
- Carle, F.L. (2012). A new Epiophlebia (Odonata: Epiophlebioidea) from China with a review of epiophlebian taxonomy, life history, and biogeography. *Arthropod Systematics & Phylogeny*, 70, 75-83.
- Carroll, S.P. (2007). Natives adapting to invasive species: Ecology, genes, and the sustainability of conservation. *Ecological Research*, 2, 892-901.
- Carter, J.A. (1981). Free again. *Newsletter of the International Primate Protection League*, 8 (1), 2-4.
- Chauhan, N.P.S. (2010). Observations of bamboo flowering and associated increases in rodent populations in the north-eastern region of India. In G.R. Singleton, L.A. Hinds, C.J. Krebs & D.M. Spratt (eds.), *Rodent Outbreaks: Ecology and Impacts* (pp. 267-70). Los Baños, Philippines: International Rice Research Institute.
- Chauvet, J.-M., Deschamps, E.B., and Hillaire, C. (1996). *Dawn of Art: The Chauvet Cave. The Oldest Known Paintings in the World*. New York: Harry N. Abrams.
- Chauvin, R. (1986). A PK experiment with mice. *Journal of the Society for Psychological Research*, 53, 348-51.
- Chew, M.K., and Hamilton, A.L. (2011). The rise and fall of biotic nativeness: A historical perspective. In D.M. Richardson (ed.), *Fifty Years of Invasion Ecology: The Legacy of Charles Elton* (pp. 35-47). Oxford: Wiley-Blackwell.

- Cohen, J. (2010). Getting intimate with the chimp mind, Japanese style. *Science*, 328, 41-42.
- Collins, H., and Pinch, T. (1982). *Frames of Meaning: The Social Construction of Extraordinary Science*. Routledge Kegan & Paul.
- Collins, H., and Pinch, T. (1993). *The Golem: What Everyone Should Know About Science*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Cook, L.M. (2003). The rise and fall of the Carbonaria form of the peppered moth. *Quarterly Review of Biology*, 78, 399-417.
- Cook, L.M., Cowie, R.H., and Jones, J.S. (1999). Change in morph frequency in the snail *Cepaea nemoralis* on the Marlborough Downs. *Heredity*, 82, 336-42.
- Cook, L.M., Dennis, L.H., and Mani, G.S. (1999). Melanic morph frequency in the peppered moth in the Manchester area. *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*, 266, 293-97.
- Cook, L.M., Grant, B.S., Saccheri, I.J., and Mallet, J. (2012). Selective bird predation on the peppered moth: The last experiment of Michael Majerus. *Biology Letters*, 8, 609-12.
- Cook, L.M., Mani, G.S., and Varley, M.E. (1986). Postindustrial melanism in the peppered moth. *Science*, 231, 611-13.
- Cooper, J. (1994). *Animals in War*. London: Corgi.
- Cope, E.D. (1882). On archaesthetism. *American Naturalist*, 16, 454-69.
- Cope, E.D. (1887). *The Origin of the Fittest: Essays on Evolution*. New York: D. Appleton & Co.
- Cox, G.W. (2004). *Alien Species and Evolution: The Evolutionary Ecology of Exotic Plants, Animals, Microbes, and Interacting Native Species*. Washington, DC: Island Press.
- Crew, F.A.E. (1936). A repetition of McDougall's Lamarckian experiment. *Journal of Genetics*, 33, 61-101.
- Dana, C.L., et al. (1910a). Report of an investigation of the phenomena connected with Eusapia Palladino. *Journal of the Society for Psychological Research*, 14, 330-35.
- Dana, C.L., et al. (1910b). Report of an investigation of the phenomena connected with Eusapia Palladino. *Science*, 31, 776-80.
- Darwin, C. (1859). *On the Origin of Species by Means of Natural Selection*. London: John Murray.
- Darwin, C. (1868). *The Variation of Animals and Plants under Domestication*. 2 vols. London: John Murray.
- Darwin, C. (1869). *On the Origin of Species by Means of Natural Selection*. 5th ed. London: John Murray.
- Darwin, C. (1952). *On the Origin of Species by Means of Natural Selection* (reprint of the 6th. revised ed.). Chicago, IL: Encyclopedia Britannica.
- Darwin, F. (ed.). (1887). *The Life and Letters of Charles Darwin, Including an Autobiographical Chapter*. vol. 3. London: John Murray.
- Davis, J.W. (1979). Psi in animals. *Parapsychology Review*, 10 (2), 1-8.
- Davis, M.A. (2003). Biotic globalization: Does competition from introduced species threaten biodiversity? *BioScience*, 53, 481-89.
- de Waal, F.B.M. (2001). *The Ape and the Sushi Master: Cultural Reflections by a Primatologist*. New York: Basic Books.

- de Waal, F. (2002). Foreword to N. N. Ladygina-Kohts, *Infant Chimpanzee and Human Child*. New York: Oxford University Press.
- de Waal, F.B.M. (2003). Silent invasion: Imanishi's primatology and cultural bias in science. *Animal Cognition*, 6, 293-99.
- Diamond, J.M. (1986). Rapid evolution of urban birds. *Nature*, 324, 107-8.
- Ditchkoff, S., Saalfeld, S.T., and Gibson, C.J. (2006). Animal behavior in urban ecosystems: Modifications due to human-induced stress. *Urban Ecosystems*, 9, 5-12.
- Dover, G.A. (1982). Molecular drive: A cohesive mode of species evolution. *Nature*, 299, 111-17.
- Drea, C. M., and Wallen, K. (1999). Low-status monkeys "play dumb" when learning in mixed social groups. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 96, 12965-69.
- Driesch, H. (1933). *Psychical Research*. London: G. Bell & Sons.
- DuBreuil, S.C., and Spanos, N.P. (1993). Psychological treatment of warts. In J.W. Rhue, S.J. Lynn, & I. Kirsch (eds.), *Handbook of Clinical Hypnosis* (pp. 623-48). Washington, D.C.: American Psychological Association.
- Dutton, D., and Williams, C. (2009). Clever beasts and faithful pets. *Journal of Parapsychology*, 73, 43-68.
- Duval, P., and Montredon, E. (1968a). ESP experiments with mice. *Journal of Parapsychology*, 32, 153-66.
- Duval, P., and Montredon, E. (1968b). Further psi experiments with mice. *Journal of Parapsychology*, 32, 260.
- Elmer, K.R., Lehtonen, T.K., Kautt, A.F., Harrod, C., and Meyer, A. (2010). Rapid sympatric ecological differentiation of crater lake cichlid fishes within historic times. *BMC Biology*, 8, 60.
- Elton, C. (1927). *Animal Ecology*. New York: Macmillan & Co.
- Elton, C.S. (1958/2000). *The Ecology of Invasions by Animals and Plants*. Chicago, IL: University of Chicago Press.
- Ernst, E. (2003). Distant healing? An "update" of a systematic review. *Wiener Klinische Wochenschrift*, 115, 241-45.
- Ewin, D.M. (1978). Clinical use of hypnosis for attenuation of burn depth. In F.H. Frankel & H.S. Zamansky (eds.), *Hypnosis at its Bicentennial: Selected Papers* (pp. 155-62). New York and London: Plenum Press.
- Ewin, D.M. (1986). Emergency room hypnosis for the burned patient. *American Journal of Clinical Hypnosis*, 29, 7-12.
- Ewin, D.M. (1992). Hypnotherapy for warts (*verruca vulgaris*): 41 consecutive cases with 33 cures. *American Journal of Clinical Hypnosis*, 35, 1-10.
- Ewin, D.M. (2001). The use of hypnosis in the treatment of burn patient. In G.D. Burrows, R.O. Stanley and P.B. Bloom (eds.), *International Handbook of Clinical Hypnosis* (pp. 273-84). New York: John Wiley & Sons.
- Falconer, H. (comp & ed. by C. Murchison). (1868). *Paleontological Memoirs and Notes of the Late Hugh Falconer, A.M., M.D., Vol. II. Mastodon, Elephant, Rhinoceros, Ossiferous Caves, Primæval Man*

- and *His Contemporaries*. London: Robert Hardwicke.
- Fisher, J., and Hinde, R.A. (1949). The opening of milk bottles by birds. *British Birds*, 42, 347-57, with plates.
- Fisher, R.A. (1936). Has Mendel's work been rediscovered? *Annals of Science*, 1, 115-37.
- Fouts, R.S., and Fouts, D.H. (1989). Loulis in conversation with the cross-fostered chimpanzees. In R.A. Gardner, B.T. Gardner & T.E. Van Cantfort (eds.), *Teaching Sign Language to Chimpanzees* (pp. 293-307). Albany, NY: State University of New York Press.
- Fouts, R.S., Fouts, D.H., and Schoenfeld, D. (1984). Sign language conversational interaction between chimpanzees. *Sign Language Studies*, 34, 1-12.
- Fouts, R.S., Fouts, D.H., and Van Cantfort, T.E. (1989). The infant Loulis learns signs from cross-fostered chimpanzees. In R.A. Gardner, B.T. Gardner & T.E. Van Cantfort (eds.), *Teaching Sign Language to Chimpanzees* (pp. 280-92). Albany, NY: State University of New York Press.
- Franklin, A. (2008). The Mendel-Fisher controversy. In A. Franklin *et al.* (eds.), *Ending the Mendel-Fisher Controversy* (pp. 1-77). Pittsburgh, PA: University of Pittsburgh Press.
- Franklin, D.C. (2004). Synchrony and asynchrony: Observations and hypotheses for the flowering wave in a long-lived semelparous bamboo. *Journal of Biogeography*, 31, 773-86.
- Frisch, J.E. (1959). Research on primate behavior in Japan. *American Anthropologist*, 61, 584-96.
- Fujiwara, T., Okuyama, M., Kasahara, M., and Nakamura, A. (2008). Characteristics of hospital-based Munchausen Syndrome by Proxy in Japan. *Child Abuse & Neglect*, 32, 503-9.
- Gallardo, M.H., and Mercado, C.L. (1999). Mast seeding of bamboo shrubs and mouse outbreaks in Southern Chile. *Mastozoología Neotropical*, 6, 103-11.
- Galton, D. (2009). Did Darwin read Mendel? *QJM: An International Journal of Medicine*, 102, 587-89.
- Gardner, R.A., and Gardner, B.T. (1969). Teaching sign language to a chimpanzee. *Science*, 165, 664-72.
- Gardner, B.T., and Gardner, R.A. (1985). Signs of intelligence in cross-fostered chimpanzees. *Philosophical Transactions of the Royal Society B*, 308, 159-76.
- Gardner, B.T., Gardner, R.A., and Nichols, S.G. (1989). The shapes and uses of signs in a cross-fostering laboratory. In R.A. Gardner, B.T. Gardner & T.E. Van Cantfort (eds.), *Teaching Sign Language to Chimpanzees* (pp. 55-180). Albany, NY: State University of New York Press.
- Gardner, R.A. (2007). Signs of culture. *Behavioral and Brain Sciences*, 30, 410-11.
- Godwin, H. (1957). Arthur George Tansley. 1871-1955. *Biographical Memoirs of Fellows of the Royal Society*, 3, 227-46.
- Goodall, J. (1964). Tool-using and aimed throwing in a community of free-living chimpanzees. *Nature*, 201, 1264-66.
- Goodenough, A.E. (2010). Are the ecological impacts of alien species misrepresented? A review of the "native good, alien bad" philosophy. *Community Ecology*, 11, 13-21.
- Goodwin, B.C. (1990). Structuralism in biology. *Science Progress*, 74, 227-43.
- Goodwin, B., Sibatani, A., and Webster, G. (eds.). (1995). *Dynamic Structure in Biology*. Edinburgh, UK: Edinburgh University Press.
- Gould, S.J. (2002). *The Structure of Evolutionary Theory*. Cambridge, MS: Belknap Press.

- Gould, S.J. (2007). *Punctuated Equilibrium*. Cambridge, MS: Belknap Press of Harvard University Press.
- Grad, B. (1976). The biological effects of the “laying on of hands” on animals and plants: Implications for biology. In G.R. Schmeidler (ed.), *Parapsychology: Its Relation to Physics, Biology, Psychology, and Psychiatry* (pp. 76-89). Metuchen, NJ: Scarecrow Press.
- Grad, B., Cadoret, R.J., and Paul, G.I. (1961). The influence of an unorthodox method of treatment on wound healing in mice. *International Journal of Parapsychology*, 3, 5–24.
- Grant, P.R., and Grant, B.R. (2014). *40 Years of Evolution: Darwin’s Finches on Daphne Major Island*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Greisman, H.C. (1979). Herd instinct and the foundations of biosociology. *Journal of the History of the Behavioral Sciences*, 15, 357-69.
- Greyson, G., and Stevenson, I. (1980). The phenomenology of near-death experiences. *American Journal of Psychiatry*, 137, 1193-96.
- Grinnell, J. (1917). The niche-relationships of the California thrasher. *The Auk*, 34, 427-33.
- Guerrero, A.L., Rossello, A.B., and Ezpeleta, D. (2010). Stendhal syndrome: Origin, characteristics and presentatin in a group of neurologists. *Neurologia*, 25, 349-56.
- Hadid, Y., et al. (2013). Possible incipient sympatric ecological speciation in blind mole rats (*Spalax*). *PNAS*, 110, 2587-92.
- Halstead, B. (1985). Commentary: Anti-Darwinian theory in Japan. *Nature*, 317, 587-89.
- Halstead, B. (1987). Scientific correspondence: Imanishi’s influence on evolution theory in Japan. *Nature*, 326, 21.
- Hardy, A. (1965) *The Living Stream: A Restatement of Evolution Theory and its Relationship to the Spirit of Man*. London: Harper and Row.
- Hardy, A., Harvie, R., and Koestler, A. (1974). *The Challenge of Chance: A Mass Experiment in Telepathy and Its Unexpected Outcome*. New York: Random House.
- Harris, M.P. (1970). Abnormal migration and hybridization of *Larus argentatus* and *L. fuscus* after interspecies fostering experiments. *Ibis*, 112, 488–98.
- Hartland, E.S. (1902). First fruits of the Cambridge anthropological expedition to Torres Straits, *Nature*, 65, iii-iv.
- Hawks, F.L. (comp.).(1856). *Narrative of the Expedition of an American Squadron to the China Seas and Japan, Performed in the Years 1852, 1853, and 1854, Under the Command of Commodore M. C. Perry, United States Navy, by Order of the Government of the United States*. Washington, DC.
- Hayek, F.A. (ed. by W.W. Bartley, III & S. Kresge).(1991). *The Collected Works of F.A Hayek, Vol. III. The Trend of Economic Thinking: Essays on Political Economists and Economic History*. London: Routledge.
- Hayes, C. (1951). *The Ape in Our House*. New York: Harper & Brothers.
- Hixson, M.D. (1998). Ape language research: A review and behavioral perspective. *Analysis of Verbal Behavior*, 15, 17-39.
- Hokkyo, N. (1986). Scientific Correspondence: Anti-Darwinism in Japan. *Nature*, 322, 197.
- Howard, L. (1953). *Birds as Individuals*. London: Collins.

- Hurford, J. (2011). Linguistics from an evolutionary point of view. In R. Kempson, T. Fernando & N. Asher (eds.), *Handbook of the Philosophy of Science. Vol. 14: Philosophy of Linguistics* (pp. 473-98). Amsterdam: Elsevier.
- Huxley, J.S. (1936). Natural selection and evolutionary progress. *Nature*, 138, 571-73, 603-5.
- Huxley, J.S. (1947). *Man in the Modern World*. London: Chatto & Windus.
- Huxley, J.S. (1963). Education and the humanist revolution. *Eugenics Review*, 55, 81-96.
- Ikeda, K. (1989). A new hypothesis on the mechanism of macroevolution: A structuralist approach. In B. Goodwin, A. Sibatani & G. Webster (eds.), *Dynamic Structures In Biology* (pp. 204-210). New York; Columbia University Press.
- Ikeda, K., and Sibatani, A. (1995). Kinji Imanishi's biological thought. In D.M. Lambert & H.G. Spencer (eds.), *Speciation and the Recognition Concept: Theory and Application* (pp. 71-89). Baltimore and London: Johns Hopkins University Press.
- Imanishi, K. (1974). Comment on *The evolutionary theories of Charles Darwin and Herbert Spencer*, by Derek Freeman. *Current Anthropology*, 15, 226-27.
- Imanishi, K. (1984). A proposal for *shizengaku*: The conclusion to my study of evolutionary theory. *Journal of Social and Biological Structures*, 7, 357-68.
- Imanishi, K. (trans. and ed. by P.J. Asquith *et al.*). (2002). *A Japanese View of Nature: The World of Living Things*. London: RoutledgeCurzon.
- Isbell, S.A., and Young, T.P. (1996). The evolution of bipedalism in hominids and reduced group size in chimpanzees: Alternative responses to decreasing resource availability. *Journal of Human Evolution*, 30, 389-97.
- Ito, Y. (1991). Development of ecology in Japan, with special reference to the role of Kinji Imanishi. *Ecological Research*, 6, 139-55.
- Jahn, R.G., and Dunne, B.J. (2005). The PEAR proposition. *Journal of Scientific Exploration*, 19, 195-245.
- Jahn, R.G. Dunne, B.J., and Dobyns, Y.H. (2006). Exploring the possible effects of *johrei* techniques on the behavior of random physical systems. Technical Note PEAR 2006.01. Retrieved July 11, 2013, from PEAR web site: <http://www.princeton.edu/~pear/pdfs/2006-johrei.pdf>
- Jahn, R.G., Dunne, B.J., Nelson, R.D., Dobyns, Y.H., and Bradish, G.J. (1997). Correlations of random binary sequences with pre-stated operator intention: A review of a 12-year program. *Journal of Scientific Exploration*, 11, 345-67.
- Jaksic, F.M., and Lima, M. (2003). Myths and facts on ratadas: Bamboo blooms, rainfall peaks and rodent outbreaks in South America. *Austral Ecology*, 28, 237-51.
- Janzen, D.H. (1976). Why bamboos wait so long to flower. *Annual Review of Ecology and Systematics*, 7, 347-91.
- Johannsen, W. (1911). Genotype conception of heredity. *American Naturalist*, 45, 129-59.
- John Innes Horticultural Institution (2010). *John Innes 100 Years On*. John Innes Horticultural Institution.
- Johnston, R.F., and Selander, R.K. (1964). House sparrows: Rapid evolution of races in North

- America. *Science*, 144, 548-50.
- Johnston, R.F., and Selander, R.K. (1971). Evolution in the house sparrow. II. Adaptive differentiation in North American Populations. *Evolution*, 25, 1-28.
- Johnston, R.F., and Selander, R.K. (1973). Evolution in the house sparrow. III. Variation in size and sexual dimorphism in Europe and North and South America. *American Naturalist*, 107, 373-90.
- Jordan, D.S. (1905). The origin of species through isolation. *Science*, 22, 545-62.
- Jung, C.G. (trans. by F.R.C. Hull). (1969). The archetypes and the collective unconscious. *Collected Works of C.G. Jung. Vol. 9, Part. 1*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Kaminski, J., Call, J., and Fischer, J. (2004). Word learning in a domestic dog. *Science*, 304, 1682-83.
- Kawai, M. (1965). Newly-acquired pre-cultural behavior of the natural troop of Japanese monkeys on Koshima Islet. *Primates*, 6, 1-30.
- Kawakami, K., and Higuchi, H. (2002). Bird predation by domestic cats on Hahajima Island, Bonin Islands, Japan. *Ornithological Science*, 1, 143-44.
- Kawamura, S. 1959. The process of sub-culture propagation among Japanese macaques. *Primates*, 2, 43-60.
- Keen, M. (2001). The Scole investigation: A study in critical analysis of paranormal physical phenomena. *Journal of Scientific Exploration*, 15, 167-82.
- Kellogg, W.N., and Kellogg, L.A. (1933). *The Ape and the Child: A Study of Environmental Influence upon Early Behavior*. New York and London: McGraw-Hill.
- Koblmuller, S., Albertson, R.C., Genner, M. J., Sefc, K.M., & Takahashi, T. (2012). Cichlid evolution: Lessons in diversification 2012. *International Journal of Evolutionary Biology*, 2012, 349485.
- Kocher, T.D. (2004). Adaptive evolution and explosive speciation: The cichlid fish model. *Nature Reviews Genetics*, 5, 288-98.
- Koestler, A. (1955). *The Trail of the Dinosaur & Other Essays*. London: Collins.
- Kokubo, H., and Kasahara, T. (2000). Japanese studies on anomalous phenomena in the 1990s. *International Journal of Parapsychology*, 11, 35-60.
- Koonin, E.V., and Wolf, Y.I. (2009). Is evolution Darwinian or/and Lamarckian? *Biology Direct*, 4, 42.
- Kothbauer-Hellmann, R. (1990). On the origin of a tradition: Milk bottle opening by titmice. *Zoologischer Anzeiger*, 225, 353-61.
- Kroeber, A.L. (1928). Sub-human culture beginnings. *Quarterly Review of Biology*, 3, 325-42.
- Lambert, D.M., and Spencer, H.G. (eds.). (1995). *Speciation and the Recognition Concept: Theory and Application*. Baltimore and London: Johns Hopkins University Press.
- Le Cam, L.M., Neyman, J., and Scott, E.L. (eds.). (1971). *Proceedings of the Sixth Berkeley Symposium on Mathematical Statistics and Probability. Vol. V: Darwinian, Neo-Darwinian, and Non-Darwinian Evolution*. Berkeley, CA: University of California Press.
- Lefebvre, L. (2013). Brains, innovations, tools and cultural transmission in birds, non-human primates, and fossil hominins. *Frontiers in Human Neuroscience*, 7, 1-10.

- Lever, C. (2005). *Naturalised Birds of the World*. London: Y & A D Poyser.
- Levine, J.M., Adler, P.B., and Yelenik, S.G. (2004). A meta-analysis of biotic resistance to exotic plant invasions. *Ecology Letters*, 7, 975-89.
- Levine, J.M., and D'Antonio, C.M. (1999). Elton revisited: A review of evidence linking diversity and invasibility. *Oikos*, 87, 15-26.
- Levy, Y. (1996). Modularity of language reconsidered. *Brain and Language*, 55, 240-63.
- Lewontin, R.C. (1976). Sociobiology: A caricature of Darwinism. *Proceedings of the Biennial Meeting of the Philosophy of Science Association*, 2, 22-31.
- Lief, H.I. (1977). Commentary on Dr. Ian Stevenson's "The evidence of man's survival after death." *Journal of Nervous and Mental Disease*, 165, 171-73.
- Lieb, A.L., and Martin, L.B. (2014). Living on the edge: Range edge birds consume novel foods sooner than established ones. *Behavioral Ecology*, 25, 1089-96.
- Lima, M.R., Macedo, R.H., Martins, T.L., Schrey, A.W., Martin, L.B., and Bensch, S. (2012). Genetic and morphometric divergence of an invasive bird: the introduced house sparrow (*Passer domesticus*) in Brazil. *PLOS One*, 7 (12), e53332.
- Lipton, B.H., and Bhaerman, S. (2010). *Spontaneous Evolution: Our Positive Future and a Way to Get There from Here*. Carlsbad, CA: Hay House.
- Linden, E. (1974). *Apes, Men and Language*. Baltimore, MD: Penguin Books.
- Linden, E. (1986). *Silent Partners: The Legacy of the Ape Language Experiments*. New York: Ballantine Books.
- Lockwood, J.L., Hoopes, M.F., and Marchetti, M.P. (eds.) (2007). *Invasion Ecology*. Malden, MA: Blackwell Publishing.
- Lodge, D.M. (1993). Biological invasions: Lessons for ecology. *Trends in Ecology & Evolution*, 8, 133-37.
- Lomolino, M.V. (2000). A call for a new paradigm of island biogeography. *Global Ecology & Biogeography*, 9, 1-6.
- Long, W.J. (1919). *How Animals Talk: And Other Pleasant Studies of Birds and Beasts*. New York: Harper & Brothers.
- Lucek, K., Sivasundar, A., and Seehausen, O. (2012). Evidence of adaptive evolutionary divergence during biological invasion. *PLoS ONE*, 7 (11), e49377.
- MacArthur, R. (1955). Fluctuations of animal populations and a measure of community stability. *Ecology*, 36, 533-36.
- MacArthur, R. (1972). Coexistence of species. In J.A. Behnke (ed.), *Challenging Biological Problems; Directions toward Their Solution* (pp. 252-59). New York: Oxford University Press.
- MacArthur, R.H., and Wilson, E.O. (1963). An equilibrium theory of insular zoogeography. *Evolution*, 17, 373-87.
- MacArthur, R.H., and Wilson, E.O. (1967). *The Theory of Island Biogeography*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Magherini, G. (1995). *Sindrome di Stendhal*. 2nd ed. Firenze: Ponte Alle Grazie.
- Majerus, M.E.N. (2009). Industrial melanism in the peppered moth, *Biston betularia*: An excellent

- teaching example of Darwinian evolution in action. *Evolution: Education and Outreach*, 2, 63-74.
- Martin, L.B., and Fitzgerald, L. (2005). A taste for novelty in invading house sparrows, *Passer domesticus*. *Behavioral Ecology*, 16, 702-7.
- Mawer, S. (2006). *Gregor Mendel: Planting the Seeds of Genetics*. New York: Abrams.
- Mayr, E. (1974). Teleological and teleonomic: A new analysis. *Boston Studies in the Philosophy of Science*, 14, 91-117.
- McDougall, W. (1927). An experiment for the testing of the hypothesis of Lamarck. *British Journal of Psychology*, 17, 267-304.
- McDougall, W. (1929). *Modern Materialism and Emergent Evolution*. London: Methuen & Co.
- McDougall, W. (1930). Second report on a Lamarckian experiment. *British Journal of Psychology*, 20, 201-18.
- McDougall, W. (1938). Fourth report on a Lamarckian experiment. *British Journal of Psychology*, 28, 321-45; 365-95.
- McNab, B.K. (1971). On the ecological significance of Bergmann's rule. *Ecology*, 52, 845-54.
- Mendel, G. (1950). Gregor Mendel's letters to Carl Nägeli. 1866-1873. *Genetics*, 35 (5 part 2), 1-29.
- Merton, R.K. (1973). Multiple discoveries as strategic research site. In R.K. Merton, *The Sociology of Science: Theoretical and Empirical Investigations* (pp. 371-82). Chicago: University of Chicago Press. [originally published in 1963 as Resistance to the systematic study of multiple discoveries in science. *European Journal of Sociology*, 4, 237-49.]
- Milgram, S. (1963). Behavioral study of obedience. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 67, 371-78.
- Milgram, S. (1965). Some conditions of obedience and disobedience to authority. *Human Relations*, 18, 57-76.
- Millar, C.D., Phillips, N.R., and Lambert, D.M. (1986). Scientific correspondence: Evolution—The struggle continues. *Nature*, 321, 475.
- Miyawaki, A. (1998). Restoration of urban green environments based on the theories of vegetation ecology. *Ecological Engineering*, 11, 157-65.
- Miyawaki, A. (2004). Restoration of living environment based on vegetation ecology: Theory and practice. *Ecological Research*, 19, 83-90.
- Miyawaki, A., and Frank, B.G. (1993). Forest reconstruction as ecological engineering. *Ecological Engineering*, 2, 333-45.
- Moga, M.M., and Zhou, D. (2008). Distant healing of small-sized tumors. *Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 14, 453.
- Mooney, H.A., and Cleland, E.E. (2001). The evolutionary impact of invasive species. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 98, 5446-51.
- Moorhead, P.S., and Kaplan, M.M. (eds.).(1967). *Mathematical Challenges to the Neo-Darwinian Interpretation of Evolution*. Philadelphia, PA: Wistar Institute Press.
- Morell, V. (1987). The origin of dogs: Running with the wolves. *Science*, 276, 1647-48.
- Morgan, T.H. (1916). *A Critique of the Theory of Evolution*. Princeton, NJ: Princeton University Press.

- Morris, R.L. (1967). Some new techniques in animal psi research. *Journal of Parapsychology*, 31, 316-17.
- Morris, R.L. (1970). Psi and animal behavior: A survey. *Journal of the American Society for Psychological Research*, 64, 242-60.
- Morris, R.L. (1976). Biology and psychical research. In G.R. Schmeidler (ed.), *Parapsychology: Its Relations to Physics, Biology, Psychology and Psychiatry* (pp. 48-75). Metuchen, NJ: Scarecrow Press.
- Morris, R.L. (1977). Parapsychology, biology, and ANPSI. In B.B. Wolman (ed.), *Handbook of Parapsychology* (pp. 687-715). New York: Van Nostrand Reinhold.
- Moulton, M.P., Cropper Jr., W.P., Avery, M.L., and Moulton, L.E. (2010). The earliest house sparrow introductions to North America. *Biological Invasions*, 12, 2955-58.
- Myers, F.W.H. (1903). *Human Personality and Its Survival of Bodily Death*. 2 vols. London: Longmans, Green, and Co.
- Nägeli, C. (1898). *A Mechanico-Physiological Theory of Organic Evolution*. Chicago, IL: Open Court Publishing Co.
- Nakahara, H., Sagawa, T. and Fuke, T. (1986). Scientific correspondence: Evolution—The struggle continues. *Nature*, 321, 475.
- Nash, C.B. (1982). Psychokinetic control of bacterial growth. *Journal of the Society for Psychological Research*, 51, 217-21.
- Ohta, T., and Dover, G.A. (1984). The cohesive population genetics of molecular drive. *Genetics*, 108, 501-21.
- Olby, R., and Gautrey, P. (1968). Eleven references to Mendel before 1900. *Annals of Science*, 24, 7-20.
- Onetto, B., and Elguin, G.H. (1966). Psychokinesis in experimental tumorigenesis. *Journal of Parapsychology*, 30, 220. (abstract)
- Osis, K. (1952). A test of the occurrence of a psi effect between man and the cat. *Journal of Parapsychology*, 16, 233-56.
- Osis, K., and Foster, E.B. (1953). A test of ESP in cats. *Journal of Parapsychology*, 17, 168-86.
- Owens, J.E., Cook, E.W., and Stevenson, I. (1990). Features of “near-death experience” in relation to whether or not patients were near death. *Lancet*, 336, 1175-77.
- Parkin, D.T., and Cole, S.R. (1985). Genetic differentiation and rates of evolution in some introduced populations of the House Sparrow, *Passer domesticus* in Australia and New Zealand. *Heredity*, 54, 15-23.
- Pasricha, S., and Stevenson, I. (1986). Near-death experiences in India: A preliminary report. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 174, 165-70.
- Pasricha, S., and Stevenson, I. (1987). Indian cases of the reincarnation type two generations apart. *Journal of the Society for Psychological Research*, 54, 239-46.
- Pasricha, S., Keil, J., Tucker, J.B., and Stevenson, I. (2005). Some bodily malformations attributed to previous lives. *Journal of Scientific Exploration*, 19, 359-83.
- Paterson, H.E.H. (1993). Recognition concept of species. In S.F. McEvey (ed.), *Evolution and the Recognition Concept of Species* (pp. 136-57). Baltimore and London: Johns Hopkins University

- Press.
- Patterson, F.G.P., and Gordon, W. (2001). Twenty-seven years of Project Koko and Michael. In B.M.F. Galdikas *et al.* (eds.), *All Apes Great and Small* (pp. 165-76). New York: Springer.
- Patterson, F., and Linden, E. (1982). *The Education of Koko*. London: Andre Deutsch.
- Pepperberg, I.M. (1983). Cognition in the African grey parrot: Preliminary evidence for auditory/vocal comprehension of the class concept. *Animal Learning & Behavior*, 11, 179-85.
- Pepperberg, I.M. (2008). *Alex and Me: How a Scientist and a Parrot Discovered a Hidden World of Animal Intelligence—and Formed a Deep Bond in the Process*. New York: HarperCollins.
- Péron, F., Chardard, C., Nagle, L. and Bovet, D. (2011). Do African grey parrots (*Psittacus erithacus*) know what a human experimenter does and does not see? *Behavioural Processes*, 87, 237-40.
- Peterson, F. (1896). Idiots savants. *Applesons' Popular Science Monthly*, 50, 232-40.
- Petronis, A., *et al.* (2003). Monozygotic twins exhibit numerous epigenetic differences. *Schizophrenia Bulletin*, 29, 169-78.
- Pfungst, O. (trans. by C.L. Rahn). (1911). *Clever Hans: A Contribution to Experimental Animal and Human Psychology*. New York: Henry Holt & Co.
- Pianka, E.R. (1970). On r and K selection. *American Naturalist*, 104, 592-97.
- Pickersgill, B. (2009). Domestication of plants revisited—Darwin to the present day. *Botanical Journal of the Linnean Society*, 161, 203-12.
- Pilpel, A. (2007). Statistics is not enough: Revisiting Ronald A. Fisher's critique (1936) of Mendel's experimental results (1866). *Studies in History and Philosophy of Biological and Biomedical Sciences*, 38, 618-26.
- Pittendrigh, C.S. (1958). Adaptation, natural selection, and behavior. In A. Roe & G. G. Simpson (eds.), *Behavior and Evolution* (pp. 390-416). New Haven, CT: Yale University Press.
- Popper, K.R. (1974). Intellectual autobiography. In P. A. Schilpp (ed.), *The Philosophy of Karl Popper. Book I* (pp. 2-181). La Salle, IL: Open Court.
- Popper, K. (1978). Natural selection and the emergence of mind. *Dialectica*, 32, 339-55.
- Popper, K. (1980). Letter on evolution. *New Scientist*, 87, 611.
- Povolný, D., Šustek Z. (1982). An attempt at a methodical separation of the concepts "synanthrope" and "Kulturfolger." *Ecology (CSSR)*, 1, 13-24.
- Premack, D. (1976). *Intelligence in Ape and Man*. Hillsdale, N. J.: Lawrence Erlbaum Associates.
- Punnett, R.C. (1925). An early reference to Mendel's work. *Nature*, 116, 606.
- Randall, J.E. (1971). Experiment to detect psi effect with small animals. *Journal of the Society for Psychical Research*, 46, 31-39.
- Rantala, M.J. (1999). Human nakedness: Adaptation against ectoparasites? *International Journal for Parasitology*, 29, 1987-89.
- Rein, G., and McCraty, R. (1995). Structural changes in water and DNA associated with new physiologically measurable states. *Journal of Scientific Exploration*, 8, 438-39.
- Rhine, J. B. (1950). Parapsychology and biology. *Journal of Parapsychology*, 14, 85-94.
- Rhine, J. B. (1951). The present outlook on the question of psi in animals. *Journal of Parapsychology*, 15, 230-51.

- Rhine, J.B., and Feather, S.A. (1962). The study of cases of “psi-trailing” in animals. *Journal of Parapsychology*, 26, 1-22.
- Rhine, J. B., and McDougall, W. (1930). Third report on a Lamarckian experiment. *British Journal of Psychology*, 24, 213-35.
- Rhine, J.B., and Rhine, L.E. (1929a). An investigation on a mind-reading horse. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 23, 449-66.
- Rhine, J.B., and Rhine, L.E. (1929b). Second report on Lady, the “mind-reading” horse. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 24, 287-92.
- Ribbink, A.J. (1988). Evolution and speciation of African cichlids. In C. Lévêque, M.N. Bruton, and G.W. Sentongo (eds.), *Biologie et Écologie des Poissons d'eau Douce Africains* (pp. 35-51). Paris: ORSTOM.
- Richardson, D.M. (ed.).(2011). *Fifty Years of Invasion Ecology: The Legacy of Charles Elton*. Oxford: Wiley-Blackwell.
- Richmond, N. (1952). Two series of PK tests on paramecia. *Journal of the Society for Psychical Research*, 36, 577-88.
- Rivers, W.H.R. (1908). *The Influence of Alcohol and Other Drugs on Fatigue*. London: Edward Arnold.
- Roe, C., Charmaine, S., and Roxburgh, E. (2014). Two meta-analyses of noncontact healing studies. *Explore*, 11, 11-23.
- Romanes, G.J. (1882). The fallacy of materialism. I. Mind and body. *Nineteenth Century*, 12, 871-88.
- Romanes, G.J. (1883). *Animal Intelligence*. New York: D. Appleton & Co.
- Romanes, G.J. (1893). *An Examination of Weismannism*. Chicago, IL: Open Court Publishing.
- Romanes, G.J. (1895). *Darwin, and After Darwin: An Exposition of the Darwinian Theory and a Discussion of Post-Darwinian Questions. II. Post-Darwinian Questions: Heredity and Utility*. Chicago, IL: Open Court Publishing.
- Rossiter, A. (1986). Scientific correspondence: Evolutionary ‘classics’ may self-destruct. *Nature*, 322, 315-16.
- Rosenberg, D.A. (1987). Web of deceit: A literature review of Munchausen syndrome by proxy. *Child Abuse and Neglect*, 11, 547-63.
- Rowley, I., and Chapman, G. (1986) Cross-fostering, imprinting, and learning in two sympatric species of cockatoos. *Behaviour*, 96, 1-16.
- Ruxton, G.D., and Wilkinson, D.M. (2011). Avoidance of overheating and selection for both hair loss and bipedality in hominins. *PNAS*, 108, 20965-69.
- Saito, A., Hayashi, M., Takeshita, H., and Matsuzawa, T. (2014). The origin of representational drawing: A comparison of human children and chimpanzees. *Child Development*, 85, 2232-46.
- Sakai, A., et al. (1987). Adaptive change of red cell deformability of rats with long-term exposure to high altitude and effects of administration of cinepazide. *Japanese Journal of Applied Physiology*, 17, 361-67.
- Sakura, O. (2005). Book review: Kinji Imanishi. *A Japanese view of nature: The world of living things*. (trans. by P.J. Asquith, H. Kawakatsu, S. Yagi & H. Takasaki). *Primates*, 46, 287-89.
- Sakura, O., Sawaguchi, T., Kudo, H., and Yoshikubo, S. (1986). Scientific correspondence:

- Declining support for Imanishi. *Nature*, 323, 586.
- Selander, R.K., and Johnston, R.F. (1967). Evolution in the house sparrow. I. Intrapopulation variation in North America. *Condor*, 69, 217-58.
- Salzburger, W., Mack, T., Verheyen, E., and Meyer, A. (2005). Out of Tanganyika: Genesis, explosive speciation, key-innovations and phylogeography of the haplochromine cichlid fishes. *BMC Evolutionary Biology*, 5, 17.
- Savage-Rumbaugh, S., and Fields, W.M. (2013). Human uniqueness: Consciousness of ourselves and other sibling species. *Nova Acta Leopoldina NF 111, nr. 380*, 205-26.
- Sax, D.F., Gaines, S.D., and Brown, J.H. (2002). Species invasions exceed extinctions on islands worldwide: A comparative study of plants and birds. *American Naturalist*, 160, 766-83.
- Schlitz, M., and Braud, W. (1997). Distant intentionality and healing: Assessing the evidence. *Alternative Therapies*, 3(6), 62-73.
- Schlitz, M., Radin, D., Malle, B.F., Schmidt, S., Utts, J., and Yount, G.L. (2003). Distant healing intention: Definitions and evolving guidelines for laboratory studies. *Alternative Therapies in Health and Medicine*, 9 (3 Suppl.), A31-43.
- Schmidt, H. (1970). PK experiments with animals as subjects. *Journal of Parapsychology*, 34, 225-61.
- Schoener, T.W. (1983). Field experiments on interspecific competition. *American Naturalist*, 122, 240-85.
- Schouten, S., and Stevenson, I. (1998). Does the socio-psychological hypothesis explain cases of the reincarnation type? *Journal of Nervous and Mental Disease*, 186, 504-6.
- Schrey, A.W., et al. (2011). Broad-scale latitudinal patterns of genetic diversity among native European and introduced house sparrow (*Passer domesticus*) populations. *Molecular Ecology*, 20, 1133-43.
- Schouten, S. (1972). Psi in mice: Positive reinforcement. *Journal of Parapsychology*, 36, 261-82.
- Schouten, S.A. (1993). Applied parapsychology studies of psychics and healers. *Journal of Scientific Exploration*, 7, 375-401.
- Schwarzbach, E., Smýkal, P., Dostál, O., Jarkovská, M., and Valová, S. (2014). Gregor J. Mendel—Genetics founding father. *Czech Journal of Genetics and Plant Breeding*, 50, 43-51.
- Sclater, A. (2000). A letter of Robert McFetridge. The Correspondence of Charles Darwin Manuscripts Room University Library, Cambridge. Retrieved October 10, 2014, from Robert McFetridge website: <http://members.shaw.ca/mcfetridge/darwin.html>.
- Sebeok, T.A. and Rosenthal, R. (eds). (1981). The Clever Hans phenomenon: Communicatin with horses, whales, apes, and people. *Annals of the New York Academy of Sciences*, 364, i-311.
- Sedlak, A.J., Mettenberg, J., Basena, M., Petta, I., McPherson, K., Greene, A., and Li, S. (2010). *Fourth National Incidence Study of Child Abuse and Neglect (NIS-4): Report to Congress*. Washington, DC: U.S. Department of Health and Human Services, Administration for Children and Families.
- Seed, A., and Byrne, R. (2010). Animal tool-use. *Current Biology*, 20, R1032-39.
- Seehausen, O. (2009). Progressive levels of trait divergence along a 'speciation transect' in the Lake Victoria cichlid fish *Pundamilia*. In R.K. Butlin, J.R. Bridle & D. Schulter (eds.), *Speciation*

- and *Patterns of Diversity* (pp. 155-76). Cambridge: Cambridge University Press.
- Seehausen, O., van Alphen, J.J.M., and Lande, R. (1999). Color polymorphism and sex ratio distortion in a cichlid fish as an incipient stage in sympatric speciation by sexual selection. *Ecology Letters*, 2, 367-78.
- Seel, D.C. (1964). An analysis of the nest record cards of the Tree sparrow. *Bird Study*, 11, 265-71.
- Sefc, K.M., Baric, W., Salzburger, S., and Sturmbauer, C. (2007). Species-specific population structure in rock-specialized sympatric cichlid species in Lake Tanganyika, East Africa. *Journal of Molecular Evolution*, 64, 33-49.
- Segerdahl, P., Fields, W., and Savage-Rumbaugh, S. (2005). *Kanzi's Primal Language: The Cultural Initiation of Primates into Language*. New York: Palgrave Macmillan.
- Selander, R.K., and Johnston, R.F. (1967). Evolution in the house sparrow. I. Intra-population variation in North America. *Condor*, 69, 217-58.
- Sermonti, G. (1993). Not from the apes. *Creation Magazine*, 15, 13.
- Sermonti, G. (2002). "The median isn't the message:" A homage to Stephen Jay Gould. *Rivista di Biologia*, 95, 81-83, 185-87.
- Shaw, L.M., Chamberlain, D., Conway, G., and Toms, M. (2011). Spatial distribution and habitat preferences of the House sparrow *Passer domesticus* in urbanised landscapes. BTO Research Report 599, British Trust for Ornithology, Thetford.
- Shaw, P.W., Turner, G.F., Idid, M.R., Robinson, R.L., and Carvalho, G.R. (2000). Genetic population structure indicates sympatric speciation of Lake Malawi pelagic cichlids. *Proceedings of the Royal Society B*, 267, 273-80.
- Sheldrake, R. (1988). *The Presence of the Past: Morphic Resonance and the Habits of Nature*. New York: Times Books.
- Sheldrake, R. (2007). Animal psi. In J. Henry (ed), *Parapsychology: Research on Exceptional Experience* (pp. 114-22). London: Routledge.
- Sheldrake, R. (2013). Setting science free from materialism. *Explore*, 9, 211-18.
- Sheldrake, R., and Lawlor, C., and Turney, J. (1998). Perceptive pets: A survey in London. *Biology Forum*, 91, 57-74.
- Sheldrake, R., and Morgana, A. (2003). Testing a language-using parrot for telepathy. *Journal of Scientific Exploration* 17, 601-15.
- Sheldrake, R., and Smart, P. (1997). Psychic pets: A survey in northwest England. *Journal of the Society for Psychical Research*, 61, 353-64.
- Sheldrake, R., and Smart, P. (2003). Videotaped experiments on telephone telepathy. *Journal of Parapsychology*, 67, 187-206.
- Shroder, T. (1999). *Old Souls: The Scientific Search for Proof of Past Lives*. New York: Simon & Schuster.
- Shumaker, R.W., Walkup, A.K.R., and Beck, B.B. (2011). *Animal Tool Behavior: The Use and Manufacture of Tools by Animals*. revised and updated version. Baltimore, MD: Johns Hopkins University Press.
- Sibatani, A. (1983a). Kinji Imanishi and species identity. *Rivista di Biologia*, 76, 25-42.

- Sibatani, A. (1983b). The anti-selectionism of Kinji Imanishi and social Darwinism in Japan. *Journal of Social and Biological Structures*, 6, 335-43.
- Sibatani, A. (1986). Scientific correspondence: Evolution with a Japanese slant. *Nature*, 320, 492.
- Sibatani, A. (1987). On structuralist biology. *Rivista di Biologia*, 80, 558-64.
- Sibatani, A. (1989). How to structuralize biology. In B. Goodwin, A. Sibatani & G. Webster (eds.), *Dynamic Structure in Biology* (pp. 16-30). Edinburgh, UK: Edinburgh University Press.
- Sibatani, A. (1996). Osaka group for the study of dynamic structure. *Rivista di Biologia*, 89, 497-500.
- Sibatani, A., and Sermoniti, G. (1999). Ten years of Osaka Group. *Rivista di Biologia*, 92, 215-18.
- Sinclair, M. (1986). Scientific correspondence: Imanishi and Halstead: Intraspecific competition? *Nature*, 320, 580.
- Spinney, L. (2010). Dreampond revisited. *Nature*, 466, 174-75.
- Stanford, R.G. (1974a). An experimentally testable model for spontaneous psi events. I. Extrasensory events. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 68, 34-57.
- Stanford, R.G. (1974b). An experimentally testable model for spontaneous psi events. II. Psychokinetic events. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 68, 321-56.
- Stanford, R.G. (1978). Toward reinterpreting psi events. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 72, 197-214.
- Stanford, R.G. (1990). An experimentally testable model for spontaneous psi events: A review of related evidence and concepts from parapsychology and other sciences. In S. Krippner (ed.), *Advances in Parapsychological Research*. vol. 6 (pp. 54-167). Jefferson, NC: McFarland.
- Stanford, R.G., Zennhausern, R., Taylor, A., and M. Dwyer (1975). Psychokinesis as psi-mediated instrumental response. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 69, 127-33.
- Stanley, S.M. (1981). *The New Evolutionary Timetable: Fossils, Genes, and the Origins of Species*. New York: Basic Books.
- Stevenson, I. (1957). Is the human personality more plastic in infancy and childhood? *American Journal of Psychiatry*, 114, 152-61.
- Stevenson, I. (1960). A review and analysis of paranormal experiences connected with the sinking of the Titanic. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 54, 153-71.
- Stevenson, I. (1965). Seven more paranormal experiences associated with the sinking of the Titanic. *Journal of the American Society for Psychical Research*, 59, 211-25.
- Stevenson, I. (1977a). The explanatory value of the idea of reincarnation. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 164, 305-26.
- Stevenson, I. (1977b). Research into the evidence of man's survival after death: A historical and critical survey with a summary of recent developments. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 165, 201-8.
- Stevenson, I. (1977c). The southeast Asian interpretation of gender dysphoria: An illustrative case report. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 165, 152-70.
- Stevenson, I. (1983). American children who claim to remember previous lives. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 171, 742-48.
- Stevenson, I. (1990a). Some of my journeys in medicine. The Flora Levy Lecture in the

- Humanities. Lafayette, LA: University of Southwestern Louisiana.
- Stevenson, I. (1990b). Thoughts on the decline of major paranormal phenomena. *Proceedings of the Society for Psychical Research*, 57, 149-62.
- Stevenson, I. (1992). A new look at maternal impressions: An analysis of 50 published cases and reports of two recent examples. *Journal of Scientific Exploration*, 6, 353-73.
- Stevenson, I. (1997). *Reincarnation and Biology: A Contribution to the Etiology of Birthmarks and Birth Defects. Vol. 1: Birthmarks; Vol. 2: Birth Defects and Other Anomalies*. Westport, CT: Praeger Publishers.
- Stevenson, I. (1999). Past lives of twins. *Lancet*, 353, 1358-59.
- Stevenson, I. (2000). The phenomenon of claimed memories of previous lives: Possible interpretations and importance. *Medical Hypotheses*, 54, 652-59.
- Stevenson, I. (2006). Half a career with the paranormal. *Journal of Scientific Exploration*, 20, 13-21.
- Stevenson, I., and Greyson, B. (1979a). Near-death experiences: Relevance to the question of survival after death. *JAMA*, 242, 265-67.
- Stevenson, I., and Greyson, B. (1979b). The question of survival after death (Letter). *JAMA*, 242, 2665.
- Stevenson, I., and Keil, J. (2000). The stability of assessments of paranormal connections in reincarnation-type cases. *Journal of Scientific Exploration*, 14, 365-82.
- Stevenson, I., and Keil, J. (2005). Children of Myanmar who behave like Japanese soldiers: A possible third element in personality. *Journal of Scientific Exploration*, 19, 171-83.
- Stevenson, I., and Pasricha, S. (1979). A case of secondary personality with xenoglossy. *American Journal of Psychiatry*, 136, 1591-92.
- Stevenson, I., Pasricha, S., and McClean-Rice, N. (1989). A case of the possession type in India with evidence of paranormal knowledge. *Journal of Scientific Exploration*, 3, 81-101.
- Stevenson, I., and Samararatne, G. (1988). Three new cases of the reincarnation type in Sri Lanka with written records made before verification. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 176, 741.
- Summers-Smith, J.D. (1994). Studies of West Palearctic birds 193. House sparrow. *British Birds*, 87, 593-602.
- Summers-Smith, J.D. (1998). Studies of West Palearctic birds 197. Tree sparrow. *British Birds*, 91, 124-38.
- Tansley, A.G. (1939). *The British Islands and Their Vegetation*. 2 vols. Cambridge: Cambridge University Press.
- Terai, Y., et al. (2006). Divergent selection on opsins drives incipient speciation in Lake Victoria cichlids. *PLoS Biology*, 4, 2244-51.
- Temerlin, M.K. (1975). *Lucy: Growing Up Human*. Palo Alto: Science and Behavior Books.
- Terrace, H.S. (1979a). *Nim*. New York: Alfred A. Knopf.
- Terrace, H.S. (1979b). How Nim Chimpsky changed my mind. *Psychology Today*, 13 (6), 67-72.
- Thompson, N.S. (1987). The misappropriation of teleonomy. In P.G. Bateson & P.H. Klopfer (eds.) *Perspectives in Ethology* (pp. 259-74). New York: Springer.
- Thompson, W.R. (1967). Introduction to *The Origin of Species*, by Charles Darwin. London: J.M.

Dent.

- Thorpe, W.H. (1973). William Robin Thompson. *Biographical Memoirs of Fellows of the Royal Society*, 19, 654-678.
- Tinbergen, N. (1939). On the analysis of social organization among vertebrates, with special reference to birds. *American Midland Naturalist*, 21, 210-34.
- Trechsel, M. (2010). Human uniqueness in the age of ape language research. *Society and Animals*, 18, 397-412.
- Treffert, D.A. (1988). The idiot savant: A review of the syndrome. *American Journal of Psychiatry*, 145, 563-72.
- Treffert, D.A. (2010). *Islands of Genius; The Bountiful Mind of the Autistic, Acquired, and Sudden Savant*. London & Philadelphia: Jessica Kingsley Publishers
- Tregenza, T., and Butlin, R.K. (1999). Speciation without isolation. *Nature*, 400, 311-12.
- Trut, L.N. (1999). Early canid domestication: The farm-fox experiment. *American Scientist*, 87, 160-69.
- Tucker, J.B. (2008). Ian Stevenson and cases of the reincarnation type. *Journal of Scientific Exploration*, 22, 36-43.
- Turner, J.R.G. (2002). Self-made men. *Galton Institute Newsletter*, No. 44.
- van der Does, A.J.W., and van Dick, R. (1989). Does hypnosis contribute to the care of burn patients? Review of the evidence. *General Hospital Psychiatry*, 11, 119-24.
- Vasiliev, L.L. (1963). *Experiments in Mental Suggestion*. Church Crookham, Hampshire, England: ISMI Publications.
- Vilà, C., and Wayne, R.K. (1999). Hybridization between wolves and dogs. *Conservation Biology*, 13, 195-98.
- Wagner, M. (trans. by J.L. Laird). (1873). *The Darwinian Theory and the Law of the Migration of Organisms*. London: Edward Stanford.
- Wallace, A.R. (1866). *The Scientific Aspect of the Supernatural*. London: F. Farrah.
- Wallace, A.R. (1870). *Contributions to the Theory of Natural Selection*. London: Macmillan & Co.
- Wallace, A.R. (1889). *Darwinism: An Exposition of the Theory of Natural Selection with Some of its Applications*. London: Macmillan and Co.
- Wallace, A.R. (1896). *Miracles and Modern Spiritualism*. rev. ed. London: George Redway.
- Ward, L.F. (1891). Neo-Darwinism and neo-Lamarckism. *Proceedings of the Biological Society of Washington*, 6, 11-71.
- Watkins, G.K., and Watkins, A.M. (1971). Possible PK influence on the resuscitation of anesthetized mice. *Journal of Parapsychology*, 35, 257-72.
- Watkins, G.K., and Watkins, A.M. (1974). Apparent psychokinesis on static objects by a “gifted” subject: A laboratory demonstration. In W.G. Roll, R.L. Morris & J.D. Morris (eds.) *Research in Parapsychology 1973* (pp. 132-34). Metuchen, NJ: Scarecrow Press.
- Watkins, G., Watkins, A., and Wells, R. (1973). Further studies on the resuscitation of anesthetized mice. In W.G. Roll, R.L. Morris & J.D. Morris (eds.), *Research in Parapsychology 1972* (pp 153-59). Metuchen, NJ: Scarecrow Press.

- Watson, H.C. (1847). *Cybele Britannica; Or British Plants, and Their Geographical Relations*. vol. 1. London: Longman & Co.
- Wayne, R.K., and Ostrander, E.A. (1999). Origin, genetic diversity, and genome structure of the domestic dog. *BioEssays*, 21, 247-57.
- Webster, G., and Goodwin, B.C. (1982). The origin of species: A structuralist approach. *Journal of Social and Biological Structures*, 5, 15-47.
- Weismann, A. (trans. by E.B. Poulton, S. Schonland & A.E. Shipley).(1889). *Essays upon Heredity and Kindred Biological Problems*. Oxford: Clarendon Press.
- Weismann, A. (trans. by W.N. Parker & H. Rönnefeldt).(1893). *The Germ-Plasm: A Theory of Heredity*. New York: Scribner's Sons.
- Wells, R., and Watkins, G.K. (1975). Linger effects in several PK experiments. In J.D. Morris, W.G. Roll & R.L. Morris (eds), *Research in Parapsychology 1974* (pp. 143-47). Metuchen, NJ: Scarecrow Press.
- West, B.K. (1988). *Biston betularia* L. (Lep.: *geometridae*): Melanism in decline? *Entomologist's Record*, 100, 29-41.
- Widmann, O. (1889). History of the House sparrow, *Passer domesticus*, and the European tree sparrow, *Passer montanus*, at Saint Louis, MO. In W.B. Barrows, *The English Sparrow* (*Passer domesticus*) *in North America, Especially in Its Relations to Agriculture* (pp. 191-94). Washington: Government Printing Office.
- Williamson, M. (1996). *Biological Invasions*. London: Chapman & Hall.
- Wilson, E.O., and Hutchinson, E.G. (1989). Robert Helmer MacArthur, April 7, 1930–November 1, 1972. *Biographical Memoirs*, 58, 318-27.
- Winther, R. G. (2001). August Weismann on germ-plasm variation. *Journal of the History of Biology*, 34, 517-55.
- Yuasa, Y. (2017). *My Family, My Life and My Work; The Autobiography of a Man Who Dreamed of Eliminating Leprosy*. Tokyo: Sasakawa Memorial Health Foundation.
- Zirkle, C. (1951). Gregor Mendel & his precursors. *Isis*, 42, 97-104.